

# 港区の環境に関するアンケート調査 報告書【速報版】

令和7年 11 月

港区

# 目 次

<b>1 調査の概要</b>	<b>1</b>
1-1 調査の目的	1
1-2 実施概要・回収結果	1
1-3 調査項目	2
1-4 集計にあたっての留意点	2
<b>2 区民アンケート調査の結果</b>	<b>3</b>
2-1 回答者属性	3
2-2 身の回りの環境について	4
(1) 港区の日常的な暮らしの中での環境への感じ方	4
2-3 気候変動に関する取組について	6
(1) 「気候変動の影響への適応」の認知度	6
(2) 気候変動対策の取組状況	7
(3) 再生可能エネルギー電気について	9
2-4 生物多様性に関する取組について	10
(1) 「生物多様性」の認知度	10
(2) 「生物多様性」の大切さに対する考え方	10
(3) 自然環境に関する取組の取組状況	11
(4) 気になる樹木の情報	13
2-5 身近な環境や環境保全活動に関する取組について	14
(1) 身近な環境への配慮や環境保全活動に関する取組の取組状況	14
2-6 区の実践について	16
(1) 環境に関する区の実践状況への感じ方	16
(2) 区が重点的に取り組むべき施策	18
(3) 区の環境に関する事業の認知度	19
(4) 環境情報の入手方法	20
(5) 興味のある環境活動	21
<b>3 事業者アンケート調査の結果</b>	<b>22</b>
3-1 回答者属性	22
3-2 事業活動における環境に関する取組等の位置づけについて	23
(1) 事業活動における環境の取組の位置づけ	23
(2) 事業活動における環境の取組の重要な課題	24
3-3 実施している環境に配慮した取組について	25
(1) 環境に配慮した取組の状況	25
3-4 脱炭素の取組について	28
(1) 温暖化防止設備機器の導入状況	28
(2) ZEB について	31
(3) 脱炭素経営の取組状況	33

3-5 生物多様性に関する取組について .....	35
(1) 生物多様性の保全に関する取組の状況 .....	35
3-6 取組を進める上での課題について .....	36
(1) 環境の取組を進める上での課題 .....	36
3-7 区の取組、区への協力、支援について .....	37
(1) 区が重点的に取り組むべき施策 .....	37
(2) 期待する区の支援 .....	38
(3) 区の環境保全事業の認知について .....	39
(4) 環境に関する地域貢献活動について .....	41
<b>4 学校アンケート調査の結果【児童・生徒】 .....</b>	<b>43</b>
4-1 環境をよくするために実行していること .....	43
(1) 環境をよくするための行動の実行状況 .....	43
4-2 学校で特に教えてほしい環境問題 .....	44
(1) 特に教えてほしい環境問題 .....	44
4-3 よい環境であるために大切だと思うこと .....	45
(1) 環境のために大切なこと .....	45
4-4 将来の港区の環境の姿について .....	45
4-5 自然共生・生物多様性について .....	46
(1) 生物多様性の保全に関する取組の状況 .....	46
(2) 「生物多様性」の認知度 .....	47
(3) 「生物多様性」の大切さに対する考え方 .....	47
(4) 外来種について .....	48
(5) 生きものの調べ方について .....	48
<b>5 学校アンケート調査の結果【教員】 .....</b>	<b>49</b>
5-1 環境問題・話題に対する児童・生徒の関心・認知度 .....	49
(1) 最近の児童・生徒が特に関心を持っている環境分野 .....	49
5-2 生物多様性について .....	50
(1) 「生物多様性」の認知度 .....	50
(2) 「生物多様性」の大切さに対する考え方 .....	50
(3) 外来種について .....	51
(4) 生物多様性教育の重要性について .....	51
(5) 生物多様性の教育の取組状況について .....	52
(6) ビオトープについて .....	53
5-3 環境学習を進めるうえでの課題・必要な支援 .....	54
(1) 環境学習を進める上での課題 .....	54
(2) 必要と感じる支援策 .....	54
(3) 気になる樹木の情報 .....	55

## 巻末資料



# 1 調査の概要

## 1-1 調査の目的

令和 8 年度に満了を迎える「港区環境基本計画」の改定にあたり、区民・事業者等が実践している環境に関する取組や、取組を推進するにあたっての課題などを把握し、計画改定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

## 1-2 実施概要・回収結果

調査の対象、調査方法、調査期間及び回収結果は以下のとおりです。

### ●区民アンケート調査

調査対象	港区に住民登録している満 18 歳以上の 2,000 名を無作為抽出
調査期間	令和 7（2025）年 9 月 15 日～10 月 17 日
調査方法	配付方法：調査票の郵送 回収方法：返信用封筒による郵送及び WEB 回答 ※日本語、英語、中国語、韓国語の 4 ケ国語で実施。
配布数	2,000
回収数／回収率	472（郵送：277、WEB：195）／23.6%
有効回答数／回答率	471／23.6%

### ●事業者アンケート調査

調査対象	港区内に所在する 700 事業者を無作為抽出
調査期間	令和 7（2025）年 9 月 22 日～10 月 17 日
調査方法	配付方法：調査票の郵送 回収方法：返信用封筒による郵送及び WEB 回答
配布数	700 （うち宛所不明による返送数 102）
回収数	117（郵送：65、WEB：52）／16.7%
有効回答数／回答率	115／16.4%

### ●学校アンケート調査

調査対象	港区内の公立小中学に通学する小中学生及び各校教員【29 校】
調査期間	令和 7（2025）年 7 月 3 日～7 月 18 日
調査方法	配布方法：教育委員会を通して各校に配布 回収方法：GOOGLE FORM による WEB 回答
有効回答数	1,908 （小学生：1,466、中学生：442）

## 1-3 調査項目

各対象の調査項目は以下のとおりです。

区民	1) 身の回りの環境について (問 1) 2) 気候変動に関する取組について (問 2～問 4) 3) 生物多様性に関する取組について (問 5～問 8) 4) 身近な環境や環境保全活動に関する取組について (問 9) 5) 区の実践について (問 10～問 15) 6) 回答者属性 (問 16)
事業者	1) 事業活動における環境に関する取組等の位置づけについて (問 1～問 2) 2) 実施している環境に配慮した取組について (問 3) 3) 脱炭素の取組について (問 4～問 6) 4) 生物多様性に関する取組について (問 7) 5) 取組を進める上での課題について (問 8) 6) 区の実践、区への協力、支援について (問 9～問 15) 7) 回答者属性 (問 16)
小中学生	1) 環境をよくするために実行していること (質問 1) 2) 学校で特に教えてほしい環境問題 (質問 2) 3) よい環境であるために大切だと思うこと (質問 3) 4) 将来の港区の環境の姿について (質問 4) 5) 自然共生・生物多様性について (質問 5～質問 9)
教員	1) 環境問題・話題に対する児童・生徒の関心・認知度 (問 1) 2) 生物多様性について (問 2～問 8) 3) 環境学習を進めるうえでの課題・必要な支援 (問 9～問 11)

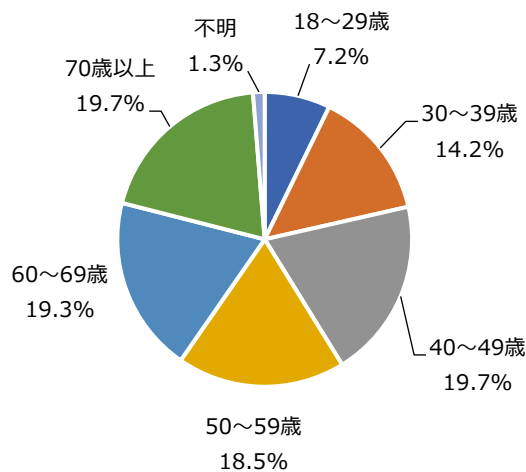
## 1-4 集計にあたっての留意点

- ・ 回答結果は、小数点第 2 位を四捨五入のうえ割合を示しているため、単数回答であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。また、各選択肢を回答割合をまとめた場合は、合計値に合わない場合があります。
- ・ 複数回答の設問の場合、全体の回答数に対する割合を示しているため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・ 図表等に記載された「n」は、回答割合算出上の基数（有効回答数）を示しています。グラフは「n」をもととした百分率（%）で示します。区民・事業者・小中学生それぞれの有効回答数と同じ場合は「n」数は記載せず、異なる場合のみ「n」数を記載しています。
- ・ 各設問において、回答の記入がないもの、回答が識別できないものについては、「不明」として処理しています。
- ・ 図表中の選択肢の表記について、語句などを一部簡略化している場合があります。

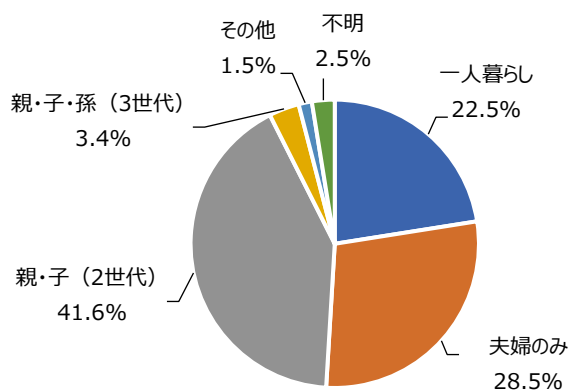
## 2 区民アンケート調査の結果

### 2-1 回答者属性

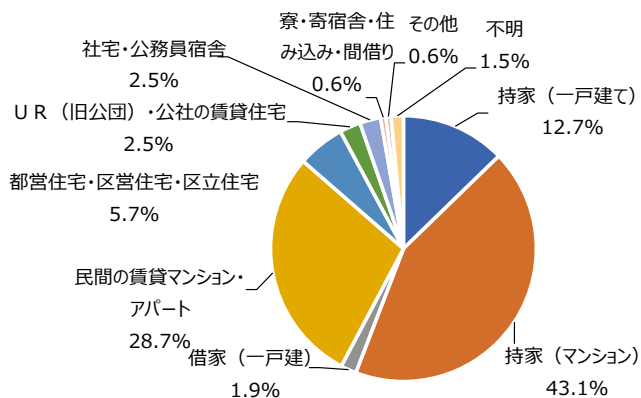
ア)年齢



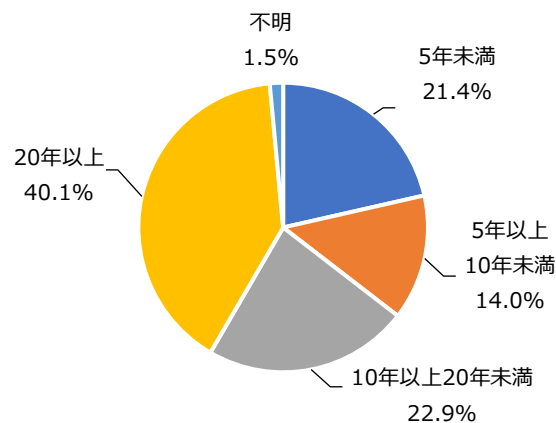
イ)世帯構成



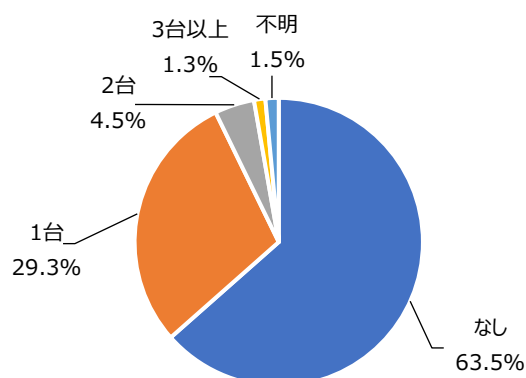
ウ)居住形態



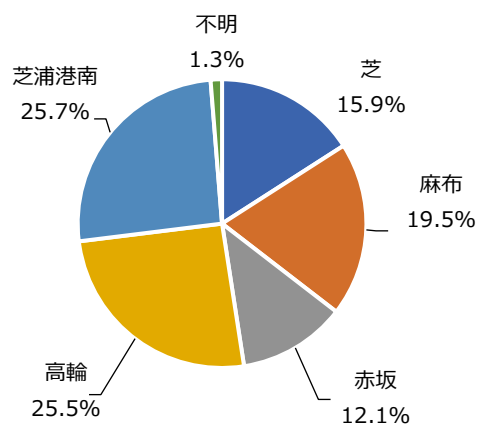
エ)居住年数



オ)自動車所有台数



カ)居住地域

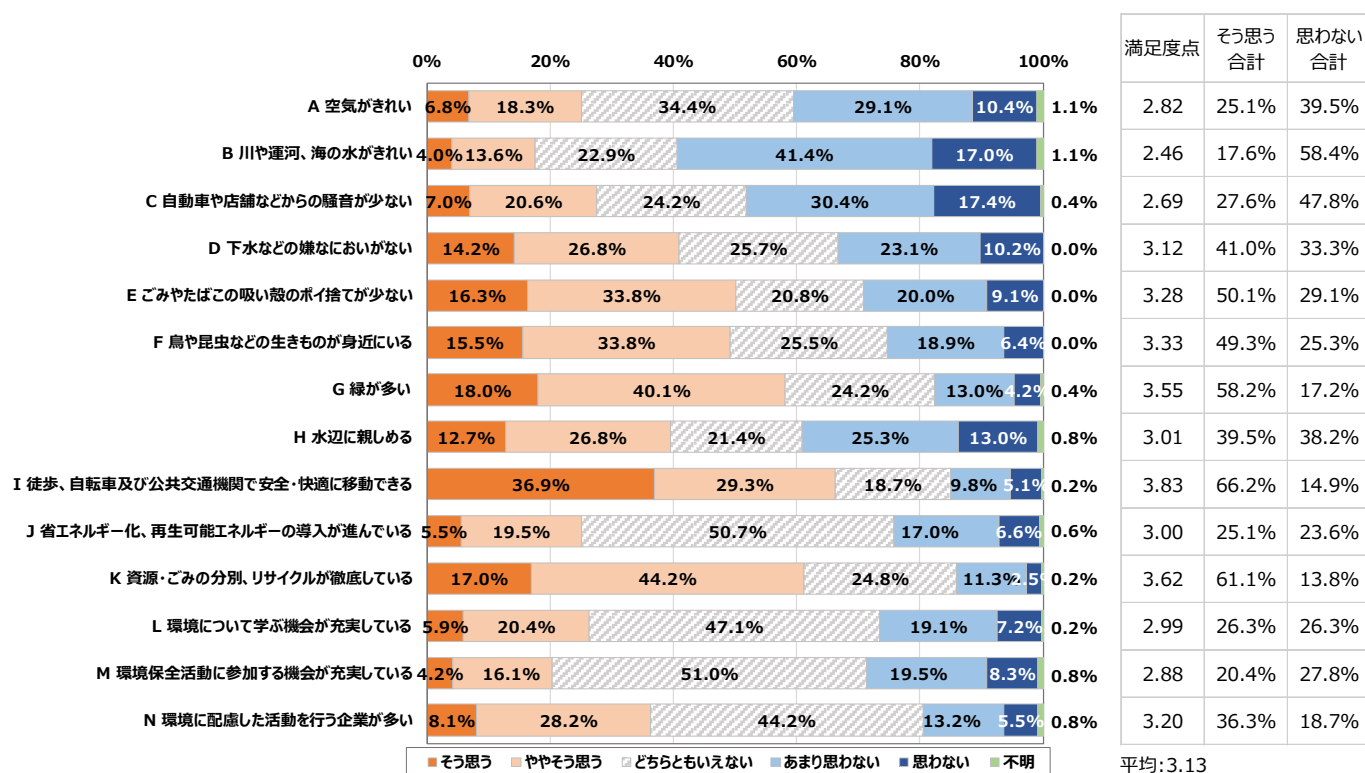


## 2-2 身の回りの環境について

### (1) 港区の日常的な暮らしの中での環境への感じ方

問1 あなたは、日常の暮らしの中で港区の環境をどのように感じていますか。  
次の中から、港区の環境に当てはまると思うものを選んでください。

- 港区の環境に対する感じ方について、肯定的なイメージに対して『そう思う合計』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）が50%を超えていた項目は、14項目中4項目でした。
- 「そう思う」と「ややそう思う」の合計が最も高かったのは「I 徒歩、自転車及び公共交通機関で安全・快適に移動できる」（66.2%）でした。次いで「K 資源・ごみの分別、リサイクルが徹底している」（61.1%）、「G 緑が多い」（58.2%）の順で続いています。
- 一方、『思わない合計』（「あまり思わない」と「思わない」の合計）の割合が最も高かった項目は「B 川や運河、海の水がきれい」（58.4%）でした。次いで「C 自動車や店舗などからの騒音が少ない」（47.8%）、「A 空気がきれい」（39.5%）の順となっています。



#### 【日常の環境に対する満足度点】

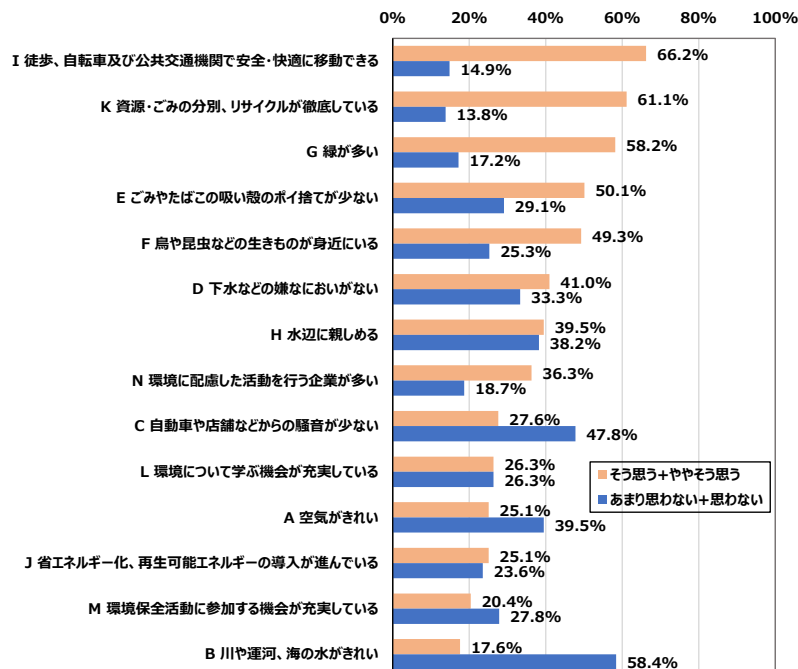
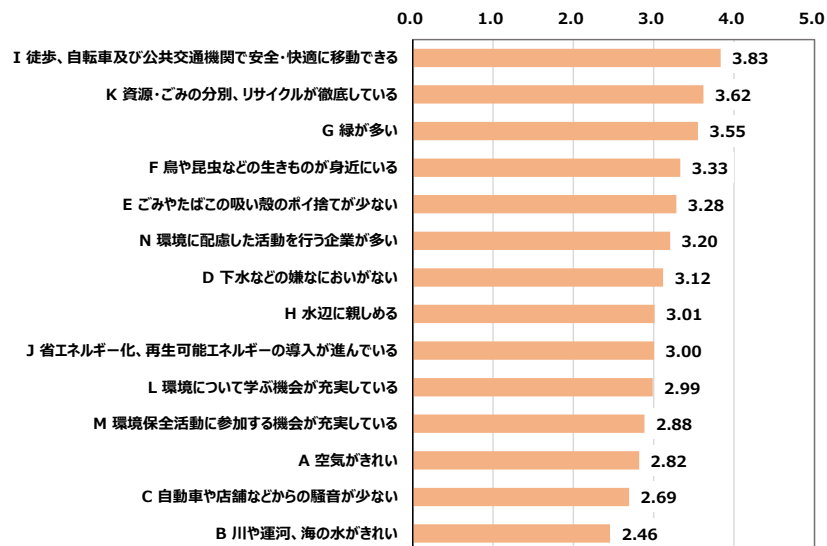
- 『そう思う』と『思わない』の双方が多いケースなど一概に満足度が高いと判断できないため、すべての回答に配慮した指標を『満足度点』として以下の方法で算出しました。
- この結果、満足度点の平均は3.13となり、6項目で平均を超えていました。

#### 「日常の環境に対する満足度点」

$$= \frac{\text{「そう思う」回答数} \times 5 + \text{「ややそう思う」回答数} \times 4 + \text{「どちらともいえない」回答数} \times 3 + \text{「あまり思わない」回答数} \times 2 + \text{「思わない」回答数} \times 1}{\text{回答者数（不明除く）}}$$



- 満足度点が最も高かったのは「I 徒歩、自転車及び公共交通機関で安全・快適に移動できる」(3.83)であり、次いで「K 資源・ごみの分別、リサイクルが徹底している」(3.62)、「G 緑が多い」(3.55)の順となりました。『そう思う合計』と比較すると、上位3位までは同一の項目で、4位以降に差異がみられます。
- 満足度点が最も低かったのは、『思わない合計』と同様、「B 川や運河、海の水がきれい」(2.46)であり、次いで「C 自動車や店舗などからの騒音が少ない」(2.69)、「A 空気がきれい」(2.82)の順となっています。

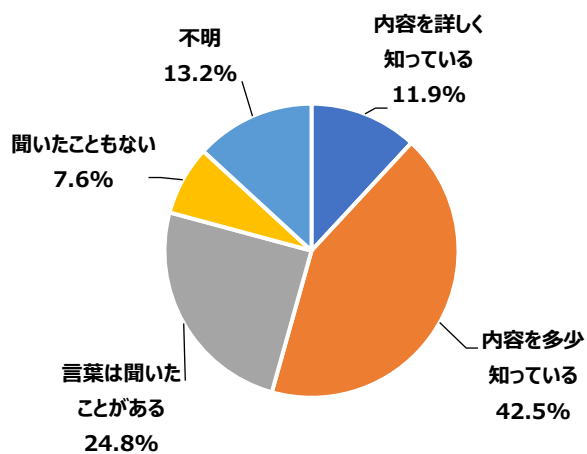


## 2-3 気候変動に関する取組について

### (1) 「気候変動の影響への適応」の認知度

問 2 あなたは、「気候変動の影響への適応」についてどのくらい知っていますか。

- 「気候変動の影響への適応」については、「内容を詳しく知っている」(11.9%)、「内容を多少知っている」(42.5%)、「言葉は聞いたことがある」(24.8%)、「聞いたこともない」(7.6%)の結果となりました。約8割の人が少なくとも聞いたことはあるとの回答となっています。

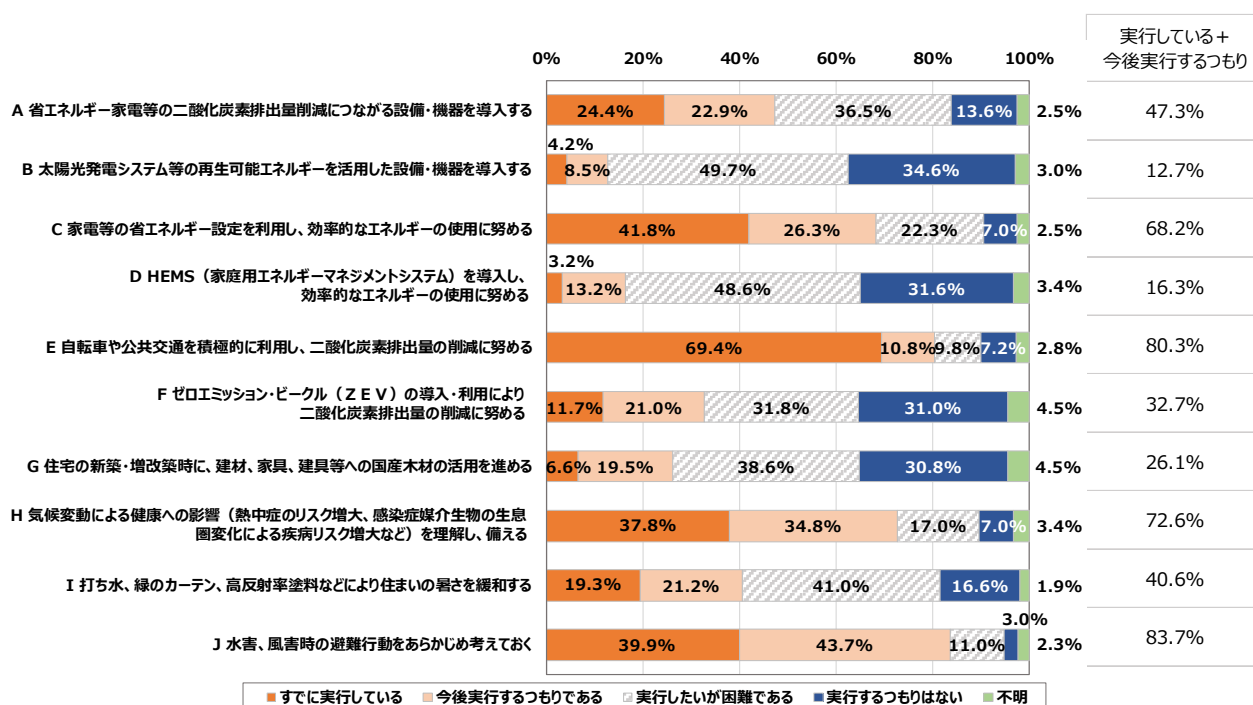


## (2)気候変動対策の取組状況

問 3 気候変動の影響への緩和や適応のための取組の状況をお答えください。

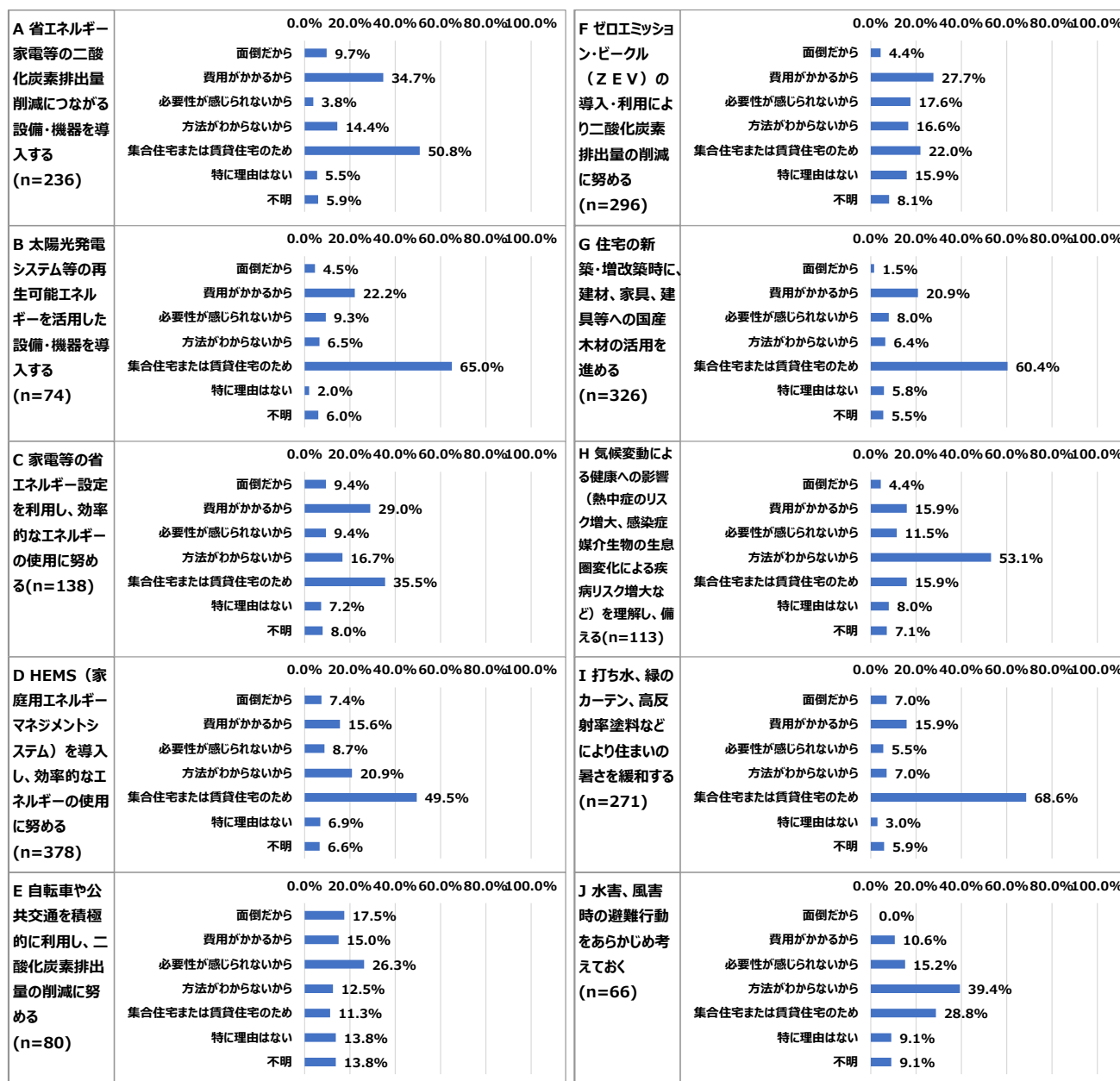
「実行したいが困難である」または「実行するつもりはない」を選んだ場合、実行しない理由もお答えください。

- 「すでに実行している」と「今後実行するつもりである」の合計の割合が高かったのは、「J 水害、風害時の避難行動をあらかじめ考えておく」(83.7%)、「E 自転車や公共交通を積極的に利用し、二酸化炭素排出量の削減に努める」(80.3%) でともに 8 割以上の回答となりました。
- 「実行したいが困難である」では、「B 太陽光発電システム等の再生可能エネルギーを活用した設備・機器を導入する」(49.7%)、「D HEMS（家庭用エネルギーマネジメントシステム）を導入し、効率的なエネルギーの使用に努める」(48.6%)、「I 打ち水、緑のカーテン、高反射率塗料などにより住まいの暑さを緩和する」(41.0%) の順に高い結果となりました。



## 【気候変動対策を実行しない理由】

- 実行しない理由については、A 省エネ型設備機器、B 太陽光発電、C 家電等のエネルギー設定、D HEMS、G 建材等への国産木材利用、I 打ち水、緑のカーテンなど、住居の形態によって導入が難しい設備機器等に関するものについて、「集合住宅や賃貸住宅のため」の回答が最も多くなっています。
- E 自転車や公共交通の積極的利用については「必要性を感じられないから」（26.3%）が、F ゼロエミッション・ビークルは「費用がかかるから」（27.7%）、H 気候変動による健康への影響への備えは「方法がわからないから」（53.1%）、J 水害風害時の避難行動への備えは「方法がわからないから」（39.4%）が最も多い回答となりました。

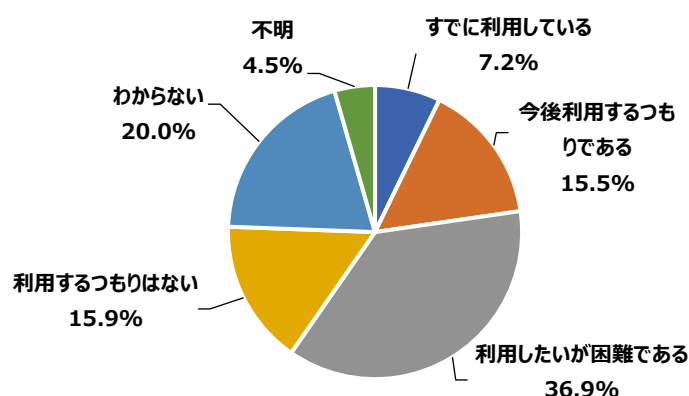


### (3)再生可能エネルギー電気について

問 4 ご家庭の電気契約における再生可能エネルギープランの利用状況に関して、次の中で該当するものを選んでください。

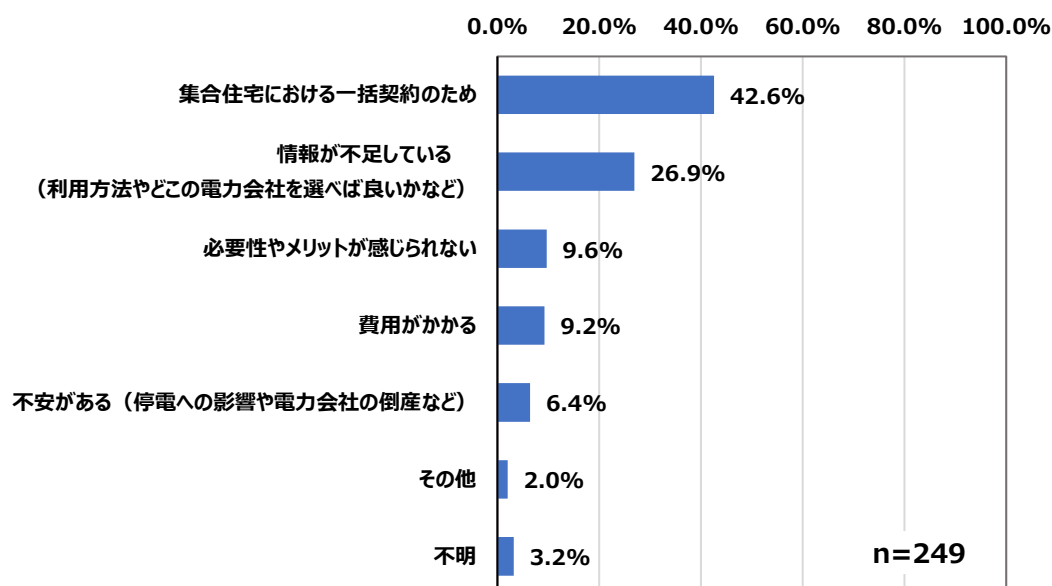
「利用したいが困難である」または「利用するつもりはない」を選んだ場合、理由もお答えください。

- 再生可能エネルギーの電気契約について、「すでに利用している」と「今後利用するつもりである」をあわせて 22.7%となりました。「利用したいが困難である」が 36.9%、「利用するつもりはない」が 15.9%、「わからない」が 20.0%の回答となりました。



#### 【再生可能エネルギー電気を利用しない理由】

- 利用しない理由については、「集合住宅における一括契約のため」(42.6%) が最も多く、次いで「情報が不足している」(26.9%) が多くなっています。

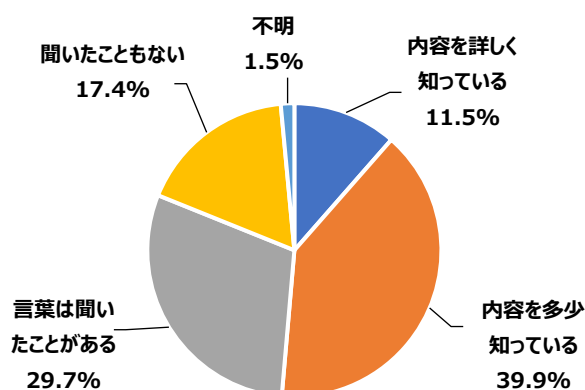


## 2-4 生物多様性に関する取組について

### (1) 「生物多様性」の認知度

問 5 あなたは、「生物多様性」についてどのくらい知っていますか。

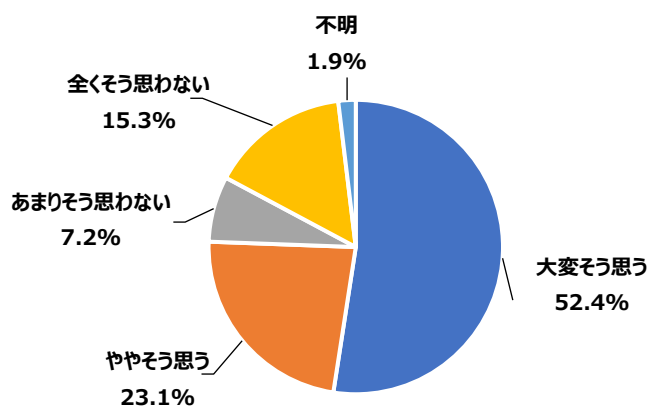
- 「生物多様性」については、「内容を詳しく知っている」(11.5%)、「内容を多少知っている」(39.9%)、「言葉は聞いたことがある」(29.7%)、「聞いたこともない」(17.4%)の結果となりました。約8割の人が少なくとも聞いたことはあるとの回答となっています。



### (2) 「生物多様性」の大切さに対する考え方

問 6 「生物多様性を守り、はぐくむことは大切である」という意見や考えについて、次の中からあなたの考えや意見に最も近いものを選んでください。

- 「生物多様性」の大切さについては、「大変そう思う」(52.4%)、「ややそう思う」(23.1%)、「あまりそう思わない」(7.2%)、「全くそう思わない」(15.3%)の結果となりました。

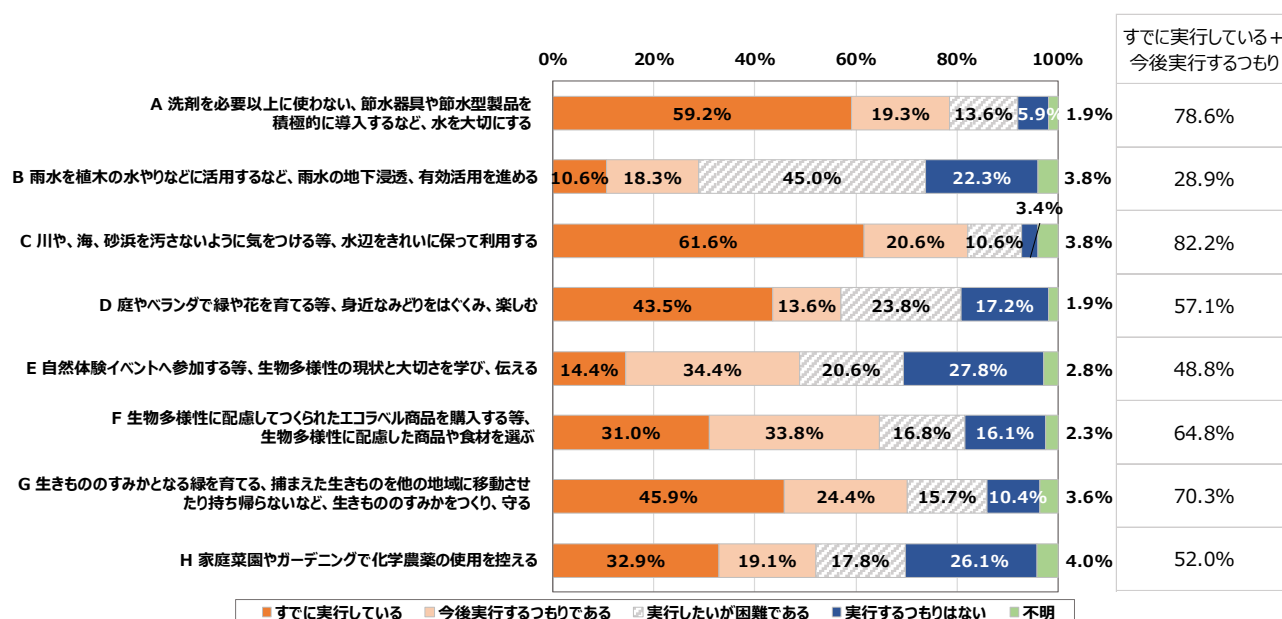


### (3)自然環境に関する取組の取組状況

問 7 自然環境（緑や水辺、生きもの）に関する取組の状況をお答えください。

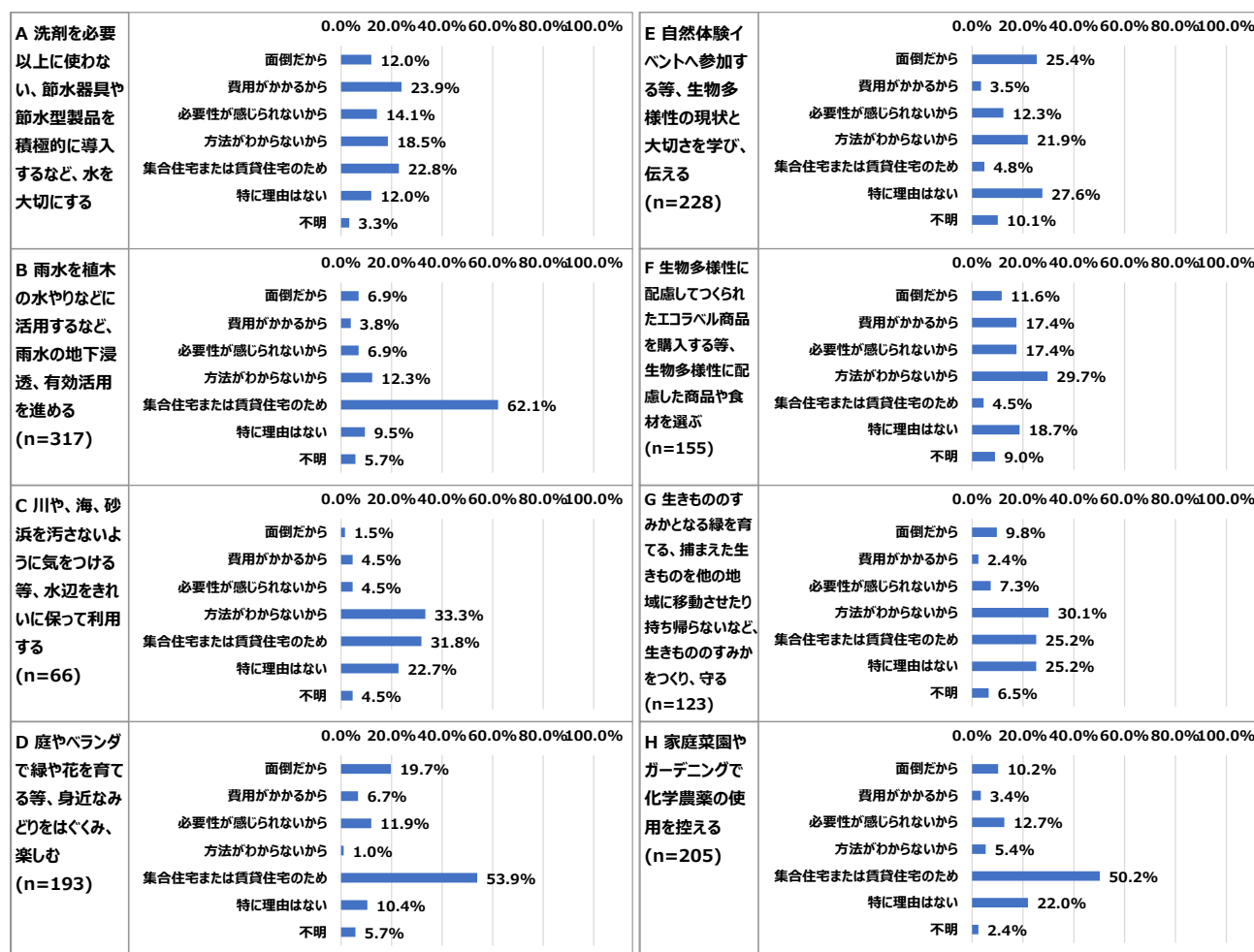
「実行したいが困難である」または「実行するつもりはない」を選んだ場合、実行しない理由もお答えください。

- 「すでに実行している」と「今後実行するつもりである」の合計の割合が高かったのは、「C 川や、海、砂浜を汚さないように気をつける等、水辺をきれいに保って利用する」(82.2%)、「A 洗剤を必要以上に使わない、節水器具や節水型製品を積極的に導入するなど、水を大切にする」(78.6%) でともに約 8 割の回答となりました。
- 「実行したいが困難である」では、「B 雨水を植木の水やりなどに活用するなど、雨水の地下浸透、有効活用を進める」(45.0%)、「D 庭やベランダで緑や花を育てる等、身近なみどりをはぐくみ、楽しむ」(23.8%)、「E 自然体験イベントへ参加する等、生物多様性の現状と大切さを学び、伝える」(20.6%) の順に高い結果となりました。



## 【自然環境に関する取組を実行しない理由】

- 実行しない理由については、B 雨水の有効活用、D 庭やベランダで緑や花を育てる、H 化学農薬の使用を抑えるなど、住居の形態によって実行が難しいものについて、「集合住宅や賃貸住宅のため」の回答が最も多くなっています。
- A 節水型製品の積極的導入については「費用がかかるから」、C 水辺をきれいに保って利用する、F 生物多様性に配慮した商品の選択、G 生きもののすみかをつくり、守るについては「方法がわからないから」、E 自然体験イベントへの参加は「特に理由はない」が最も多い回答となりました。

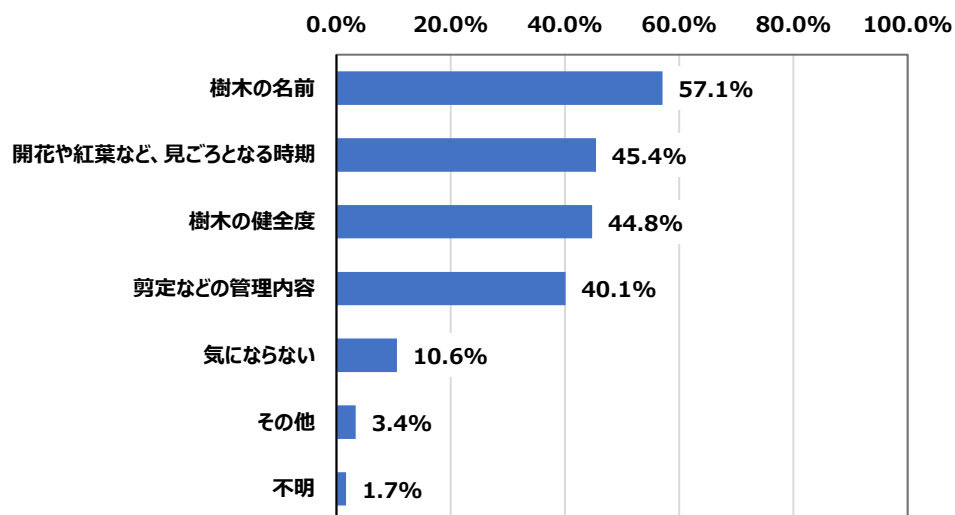




#### (4) 気になる樹木の情報

問 8 道路や公園に植えてある樹木について、どんな情報が気になりますか。

- 気になる樹木の情報については、「樹木の名前」(57.1%) が最も多く、次いで「開花や紅葉など、見ごろとなる時期」(45.4%)、「樹木の健全度」(44.8%)、「剪定などの管理内容」(40.1%) の順が続いています。「気にならない」は 10.6% でした。



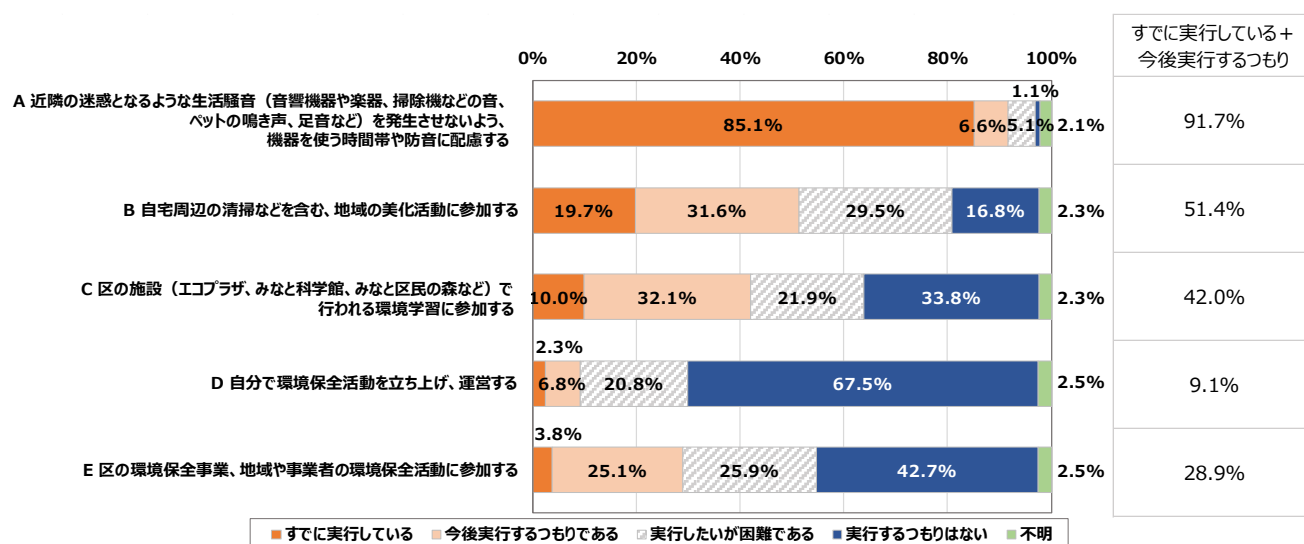
## 2-5 身近な環境や環境保全活動に関する取組について

### (1) 身近な環境への配慮や環境保全活動に関する取組の取組状況

問 9 身近な環境への配慮や環境保全活動に関する取組の状況をお答えください。

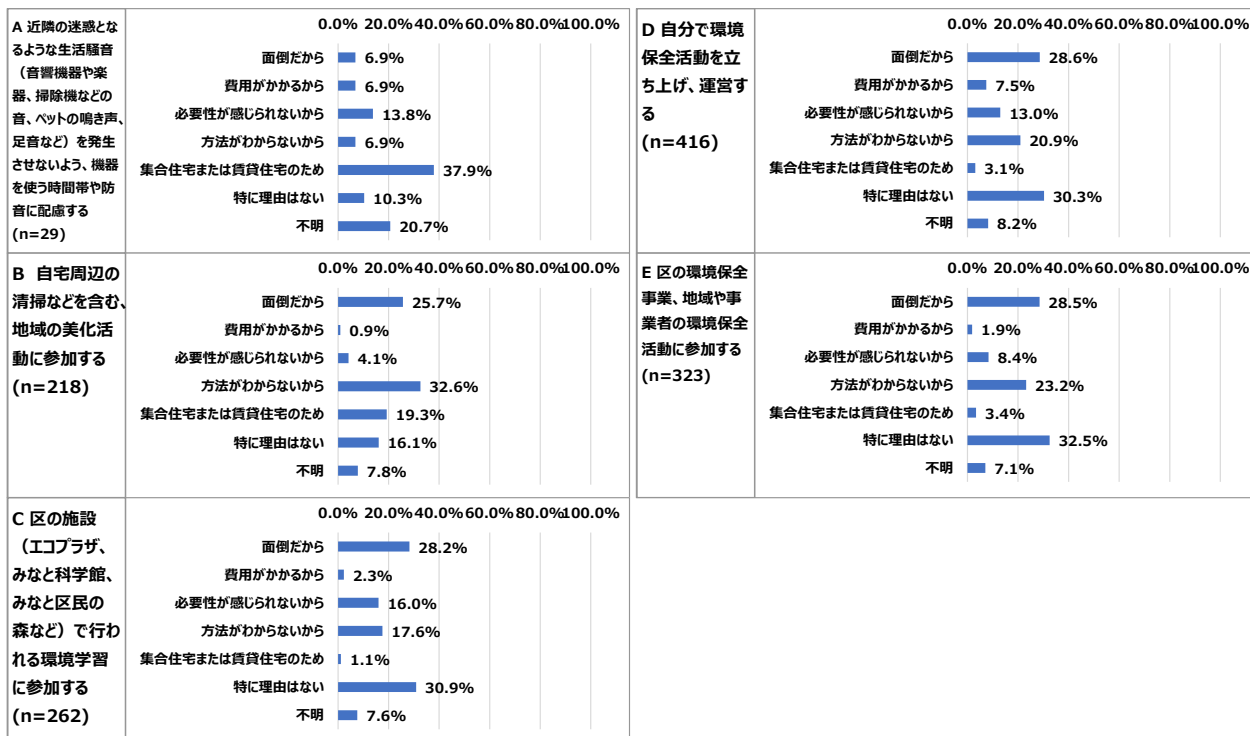
「実行したいが困難である」または「実行するつもりはない」を選んだ場合、実行しない理由もお答えください。

- 「すでに実行している」と「今後実行するつもりである」の合計の割合が高かったのは、「A 近隣の迷惑となるような生活騒音（音響機器や楽器、掃除機などの音、ペットの鳴き声、足音など）を発生させないよう、機器を使う時間帯や防音に配慮する」（91.7%）でした。
- 「実行したいが困難である」では、「B 自宅周辺の清掃などを含む、地域の美化活動に参加する」（29.5%）、「E 区の環境保全事業、地域や事業者の環境保全活動に参加する」（25.9%）、「C 区の施設（エコプラザ、みなと科学館、みなと区民の森など）で行われる環境学習に参加する」（21.9%）、「D 自分で環境保全活動を立ち上げ、運営する」（20.8%）の順に高い結果となりました。
- 「D 自分で環境保全活動を立ち上げ、運営する」については、「実行するつもりがない」が 67.5%と半数以上の回答割合となっています。



【身近な環境への配慮や環境保全活動に関する取組を実行しない理由】

- 実行しない理由については、C 区の施設の環境学習への参加、D 環境保全活動の運営、E 環境保全活動への参加で「特に理由はない」の回答が最も多くなっています。
- A 生活騒音への配慮については「集合住宅または賃貸住宅のため」(37.9%)、B 地域美化活動への参加は「方法がわからないから」(32.6%) が最も多い回答となりました。

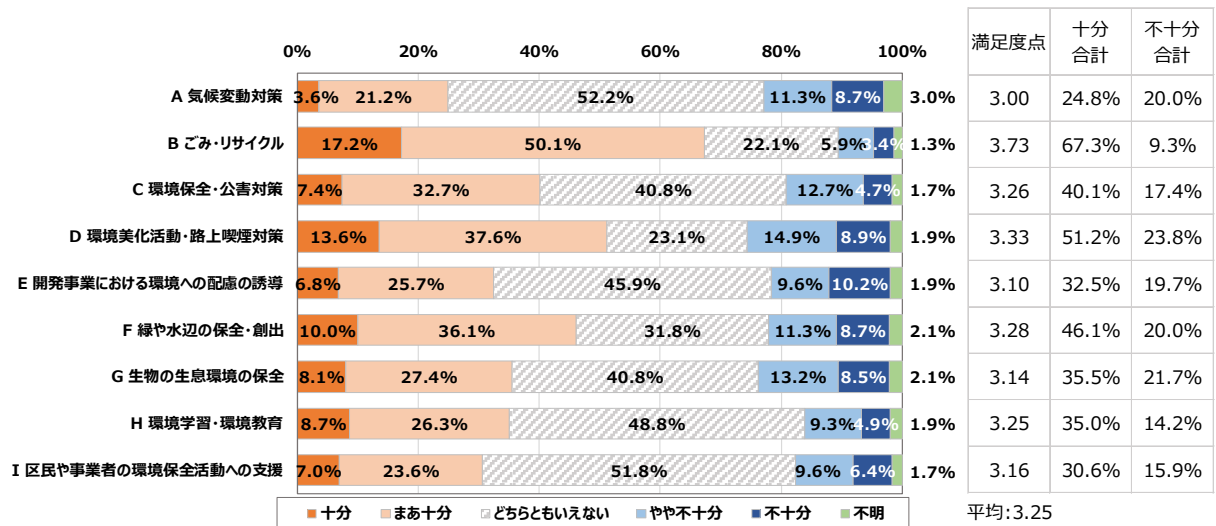


## 2-6 区の取組について

### (1)環境に関する区の取組状況への感じ方

問 10 環境に関する現在の区の取組状況について、どのように感じていますか。

- 環境に関する現在の区の取組状況について、『十分合計』（「十分」と「まあ十分」の合計）が 50%を超えていた項目は、9 項目中 2 項目でした。
- 「十分」と「まあ十分」の合計が最も高かったのは「B ごみ・リサイクル」（67.3%）でした。次いで「D 環境美化活動・路上喫煙対策」（51.2%）、「F 緑や水辺の保全・創出」（46.1%）の順で続いています。
- 一方、『不十分合計』（「やや不十分」と「不十分」の合計）の割合が最も高かった項目は「D 環境美化活動・路上喫煙対策」（23.8%）でした。次いで「G 生物の生息環境の保全」（21.7%）となっています。



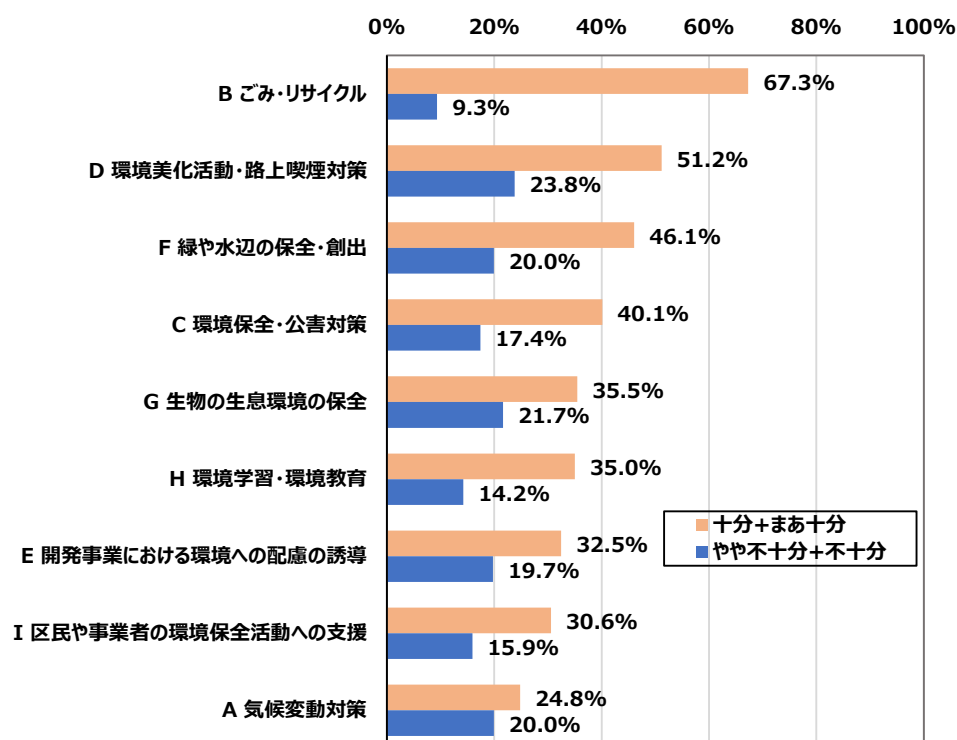
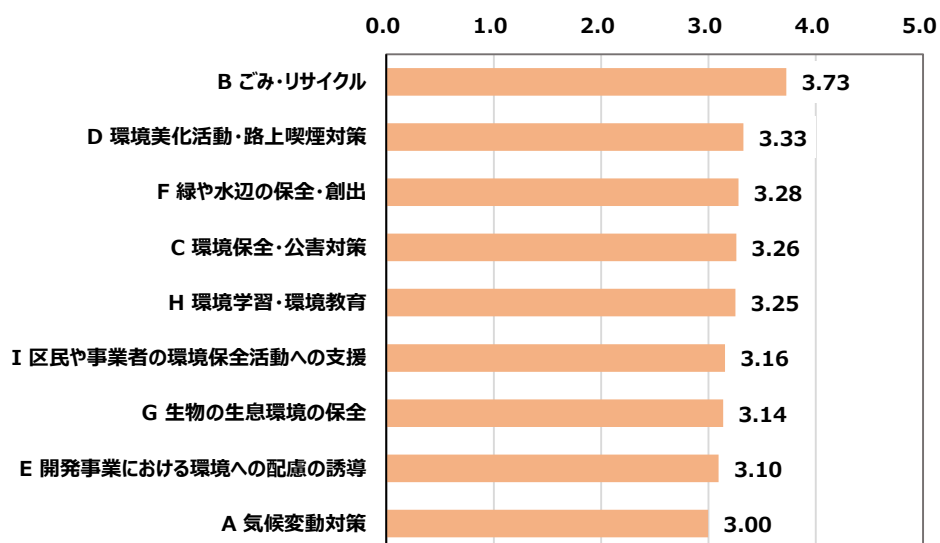
#### 【区の取組状況に対する満足度点】

- 『十分』と『不十分』の双方が多いケースなど一概に満足度が高いと判断できないため、すべての回答に配慮した指標を『満足度点』として以下の方法で算出しました。
- この結果、満足度点の平均は 3.25 となり、5 項目で平均を超えていました。

#### 「区の取組状況に対する満足度点」

$$= \frac{\text{「十分」回答数} \times 5 + \text{「まあ十分」回答数} \times 4 + \text{「どちらともいえない」回答数} \times 3 + \text{「やや不十分」回答数} \times 2 + \text{「不十分」回答数} \times 1}{\text{回答者数（不明除く）}}$$

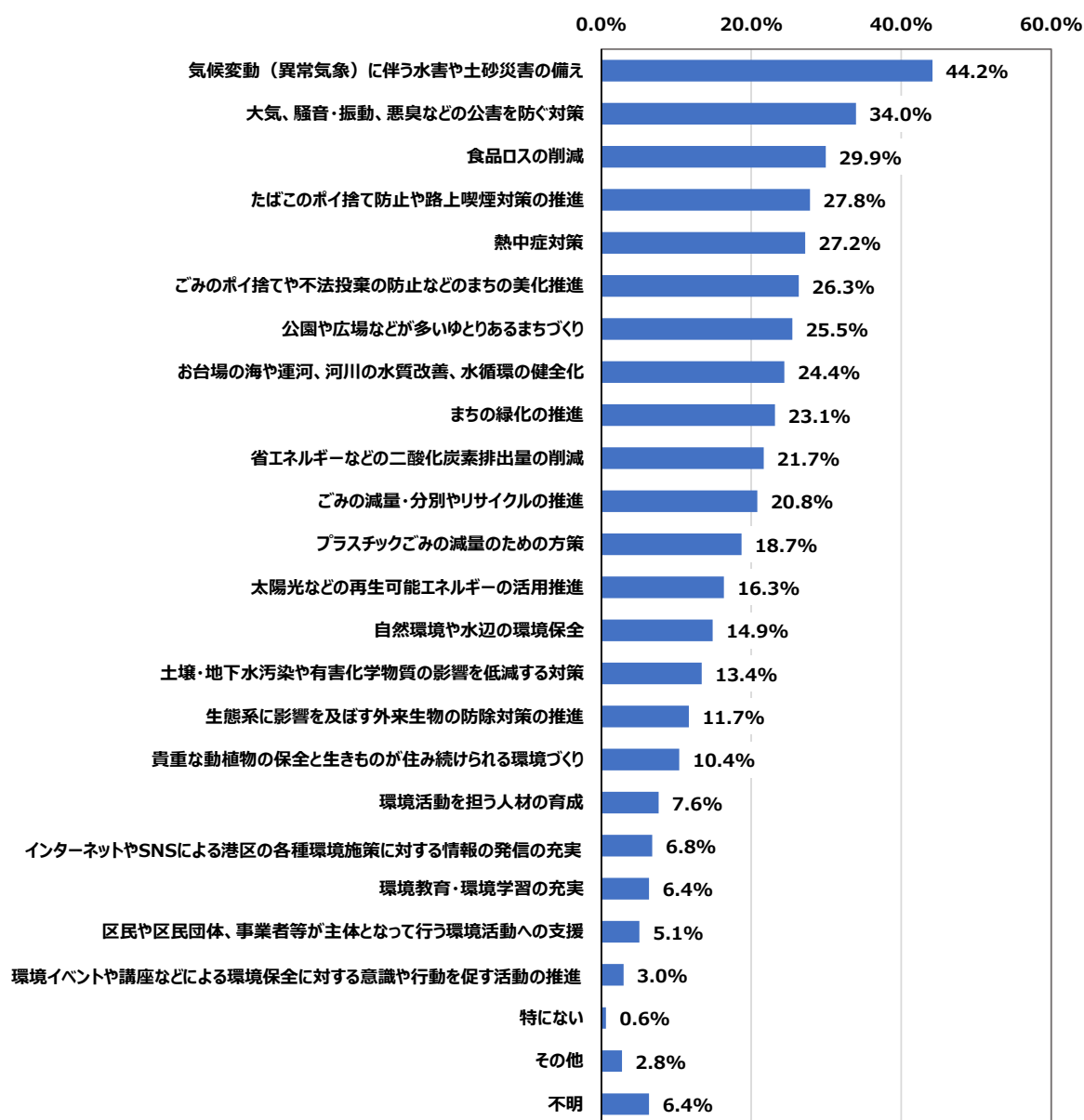
- 満足度点が最も高かったのは「B ごみ・リサイクル」(3.73)であり、次いで「D 環境美化活動・路上喫煙対策」(3.33)、「F 緑や水辺の保全・創出」(3.28)の順となりました。
- 満足度点が最も低かったのは「A 気候変動対策」(3.00)でした。



## (2) 区が重点的に取り組むべき施策

問 11 港区の環境をより良くしていくため、今後、区が重点的に取り組むべきと思うものを選んでください。(○は5つまで)

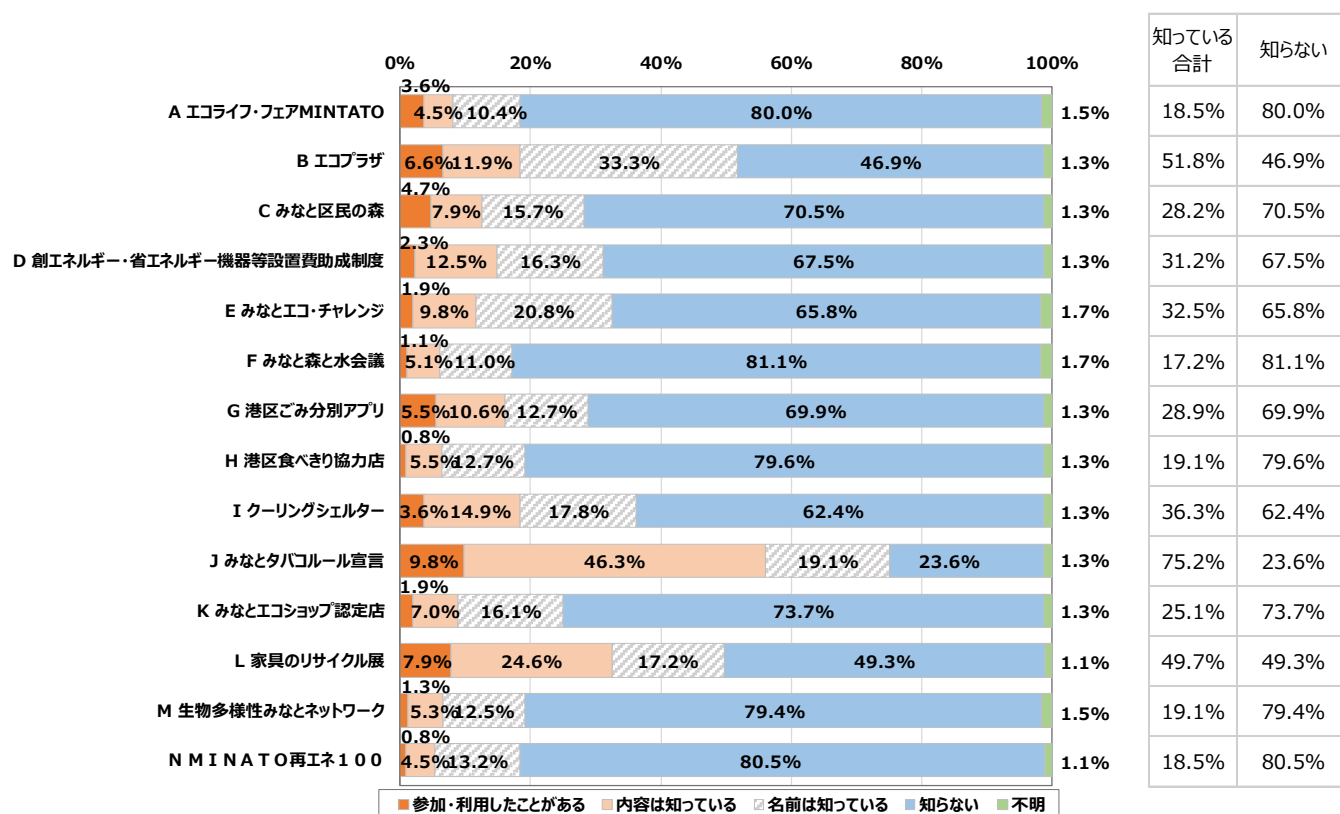
- 区が重点的に取り組むべき施策については、「気候変動（異常気象）に伴う水害や土砂災害の備え」（44.2%）が最も多く、次いで「大気、騒音・振動、悪臭などの公害を防ぐ対策」（34.0%）、「食品ロスの削減」（29.9%）の順に続いています。



### (3) 区的环境に関する事業の認知度

問 12 区的环境に関する取組や施設等について伺います。あなたは、次の事業を知っていますか。

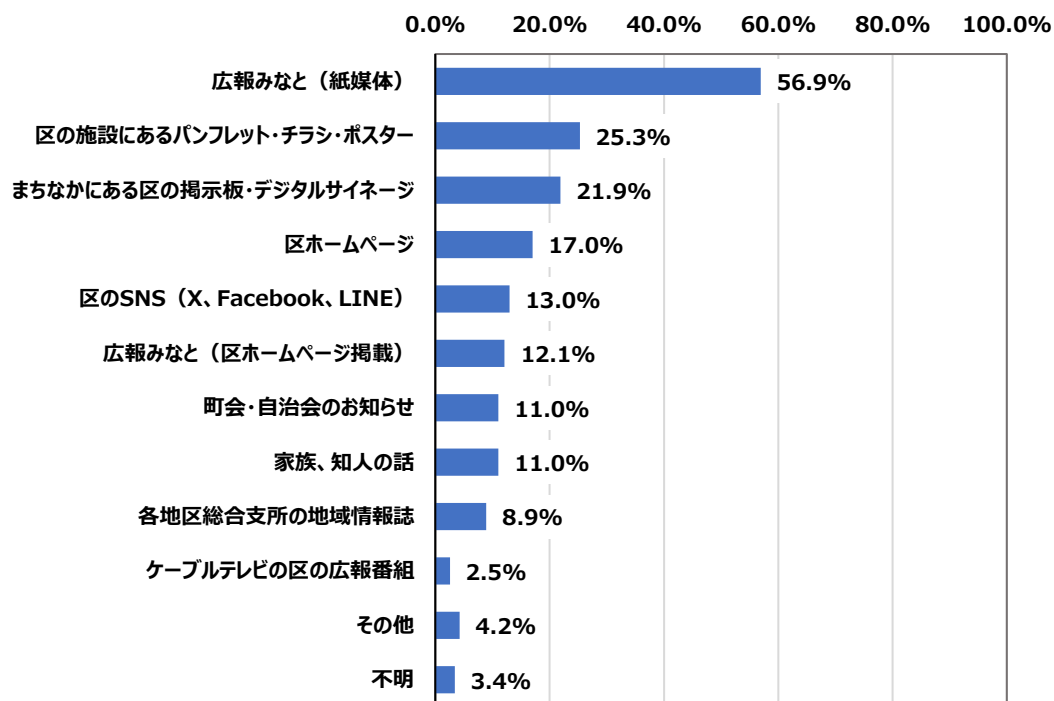
- 環境に関する区の事業について、『知っている合計』（「参加・利用したことがある」、「内容は知っている」、「名前は知っている」の合計）が 50%を超えていた項目は、14 項目中 2 項目でした。
- 「参加・利用したことがある」、「内容は知っている」、「名前は知っている」の合計が最も高かったのは「J みなとタバコルール宣言」（75.2%）でした。次いで「B エコプラザ」（51.8%）、「L 家具のリサイクル展」（49.7%）の順で続いています。
- 一方、「知らない」の割合が高かった項目は「F みなと森と水会議」（81.1%）、「N M I N A T O再エネ100」（80.5%）、「A エコライフ・フェア MINTATO」（80.0%）で 8 割以上の回答割合となりました。



#### (4) 環境情報の入手方法

問 13 あなたは、港区の環境に関する活動の情報をどこから入手していますか。

- 環境情報の入手方法については、「広報みなと（紙媒体）」（56.9%）が最も多く、次いで「区の施設にあるパンフレット・チラシ・ポスター」（25.3%）、「まちなかにある区の掲示板・デジタルサイネージ」（21.9%）の順に続いています。

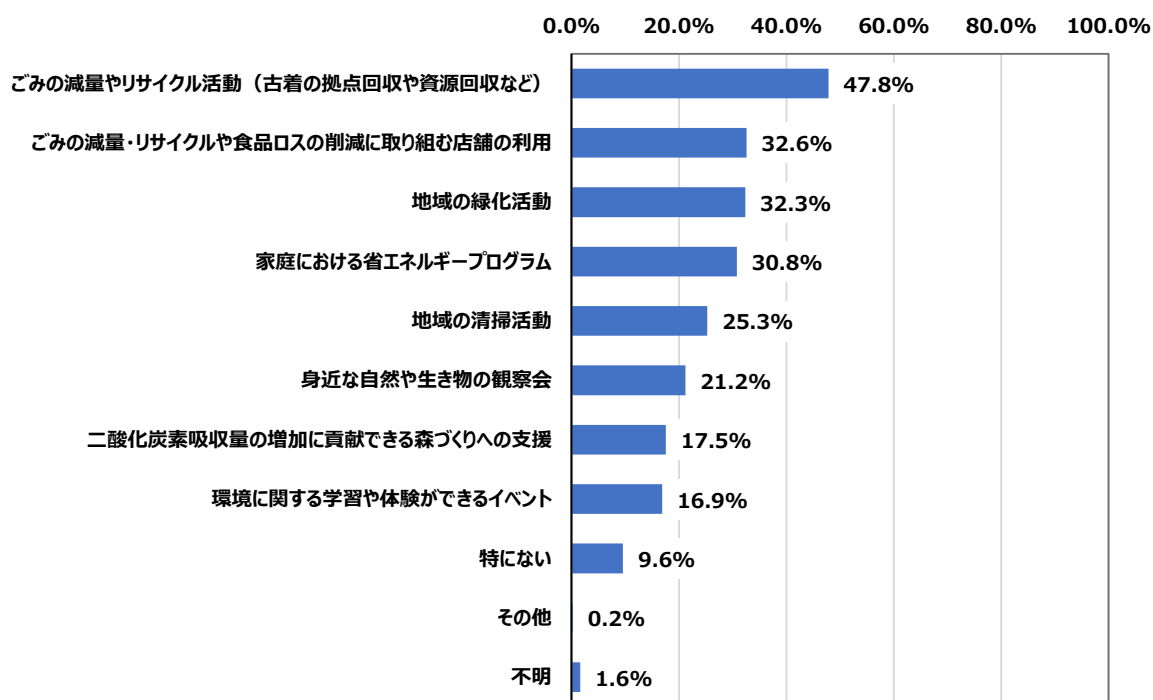




## (5) 興味のある環境活動

問 14 今後、区民と区が協力して取り組む環境に関する活動に参加するとすれば、どのような活動に興味がありますか。

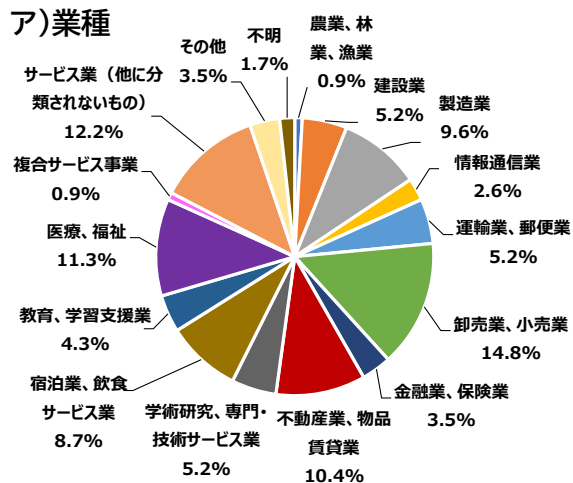
- 興味のある環境活動については、「ごみの減量やリサイクル活動（古着の拠点回収や資源回収など）」（47.8%）が最も多く、次いで「ごみの減量・リサイクルや食品ロスの削減に取り組む店舗の利用」（32.6%）、「地域の緑化活動」（32.3%）の順に続いています。



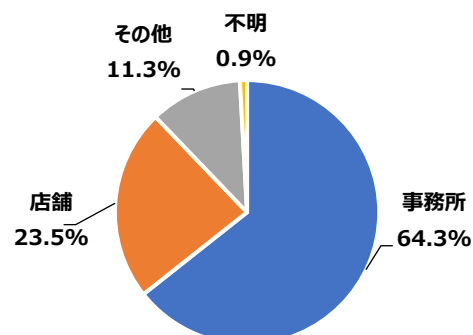
### 3 事業者アンケート調査の結果

#### 3-1 回答者属性

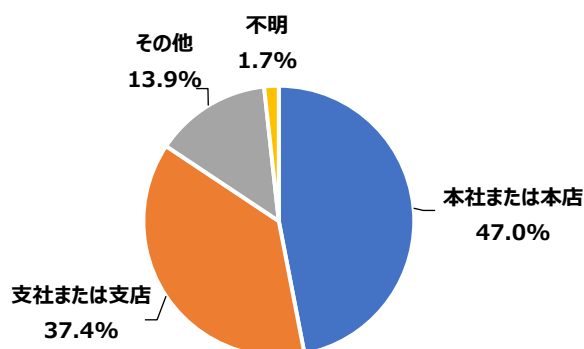
ア)業種



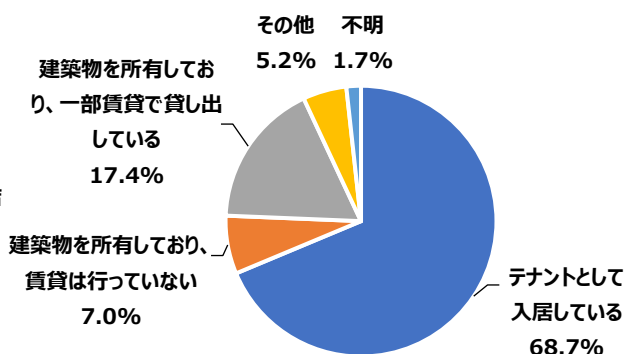
イ)事業所の形態



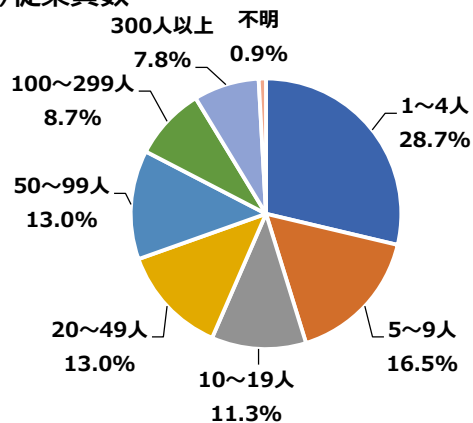
ウ)本社(本店)・支社(支店)の別



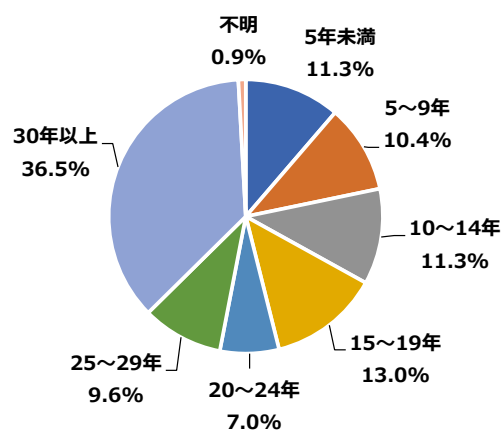
エ)建物の所有の状況



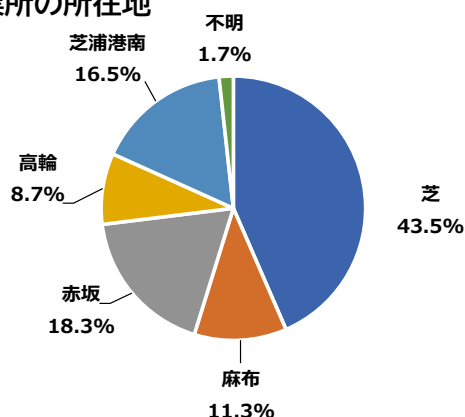
オ)従業員数



カ)区内での事業年数



キ)事業所の所在地

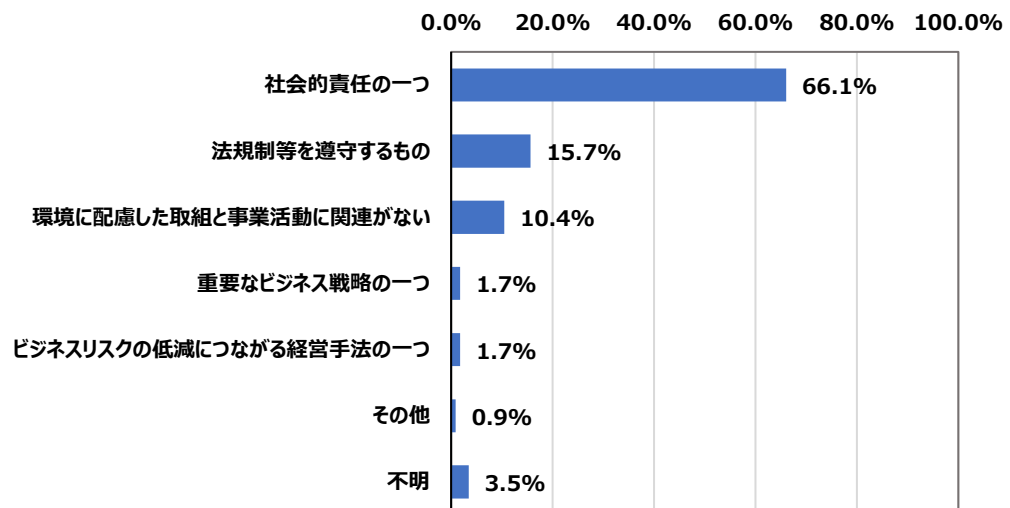


## 3-2 事業活動における環境に関する取組等の位置づけについて

### (1) 事業活動における環境の取組の位置づけ

問 1 貴組織の事業活動において、環境に配慮した取組は、現在どのように位置づけられていますか。貴組織の考えにもっとも近いものを1つお選びください。

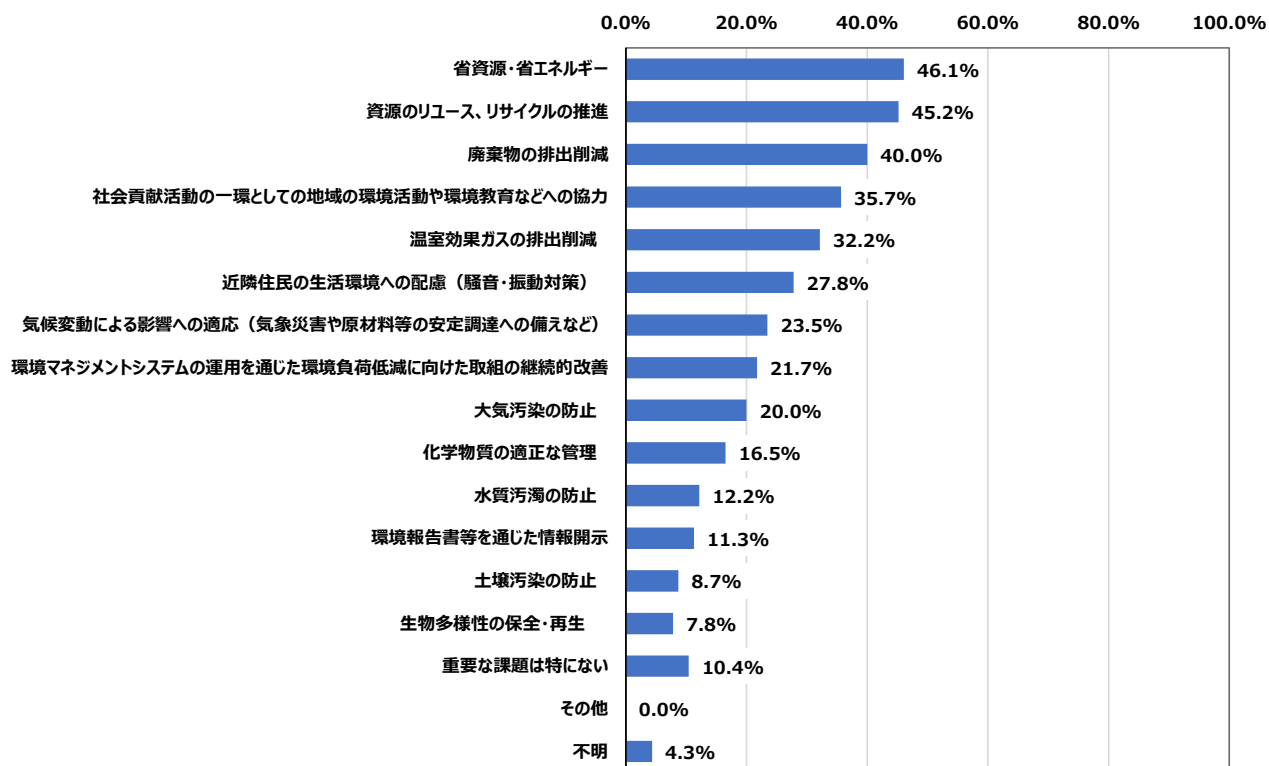
- 事業活動における環境の取組の位置づけについては、「社会的責任の一つ」（66.1%）が最も多くなっています。次いで「法規制等を遵守するもの」（15.7%）、「環境に配慮した取組と事業活動に関連がない」（10.4%）の順に続いています。



## (2) 事業活動における環境の取組の重要な課題

問 2 貴組織の事業活動における環境に配慮した取組の中で、重要な課題として位置づけられているものは何ですか。

- 事業活動における環境の取組の重要な課題については、「省資源・省エネルギー」(46.1%)が最も多く、次いで「資源のリユース、リサイクルの推進」(45.2%)、「廃棄物の排出削減」(40.0%)の順に続いています。



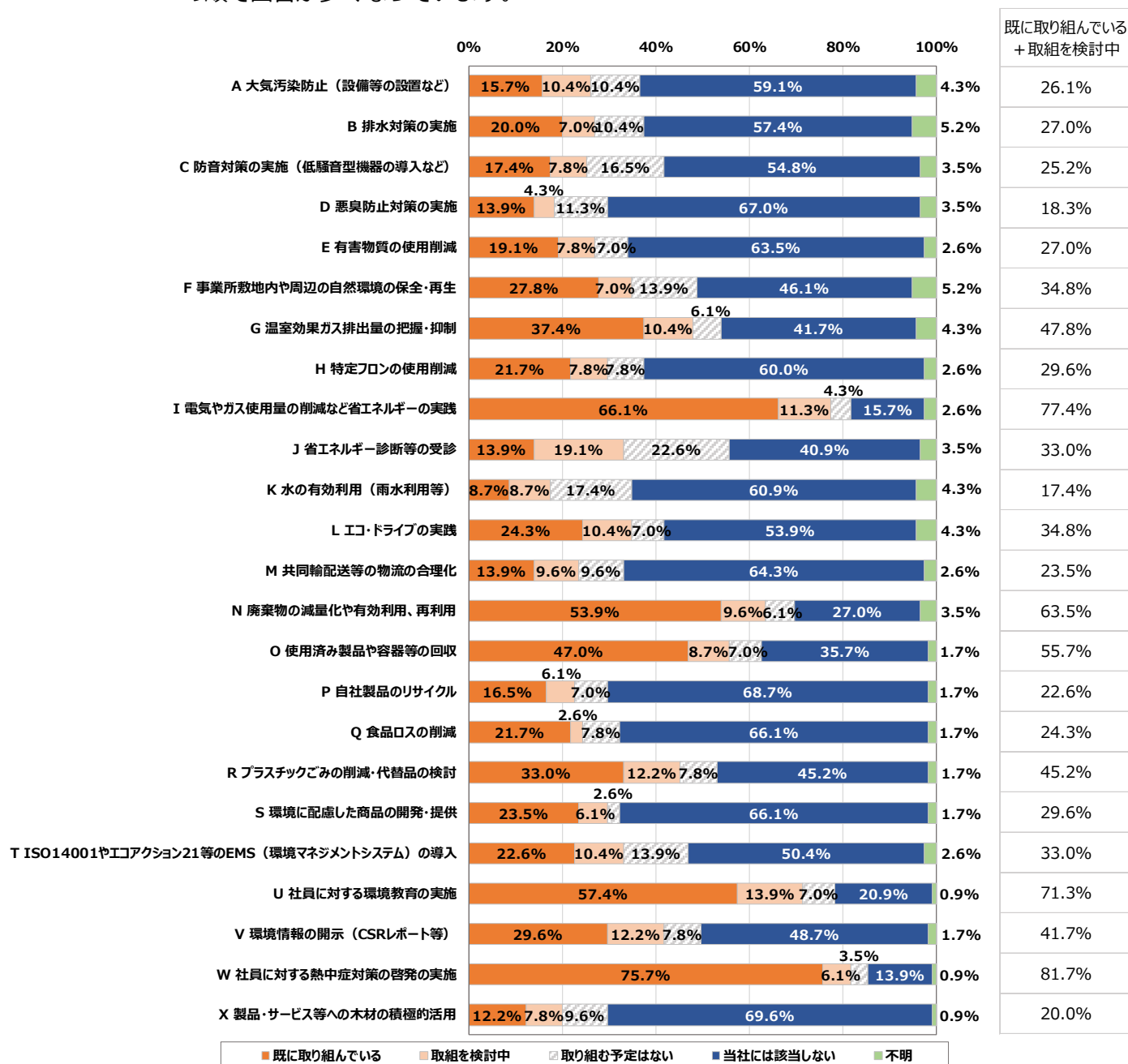
### 3-3 実施している環境に配慮した取組について

#### (1) 環境に配慮した取組の状況

問 3 貴組織で実施している、あるいは今後実施する予定の環境に配慮した取組について、当てはまる番号に○をつけてください。

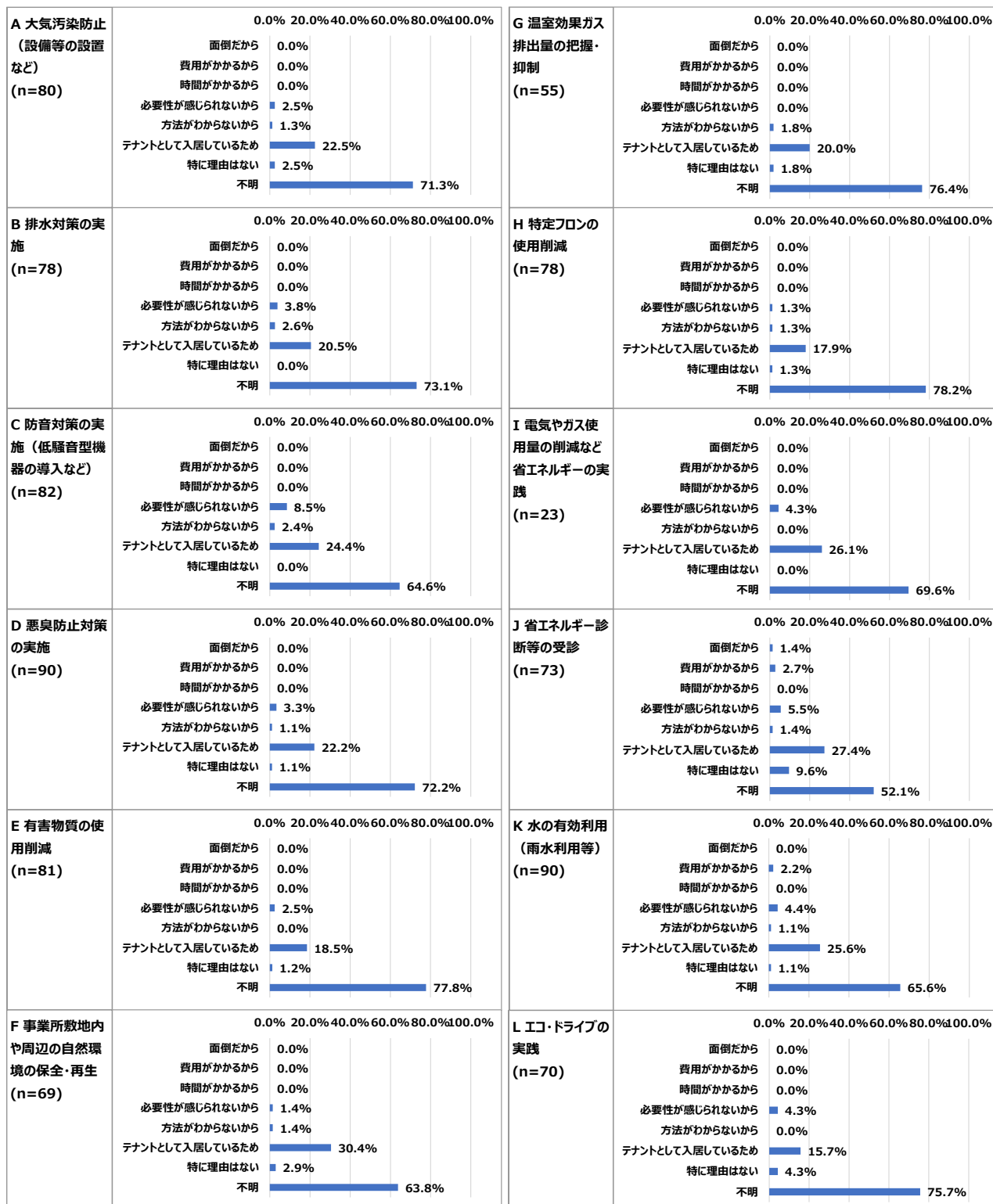
「3 取り組む予定はない」を選んだ場合、取り組まない理由もお答えください。

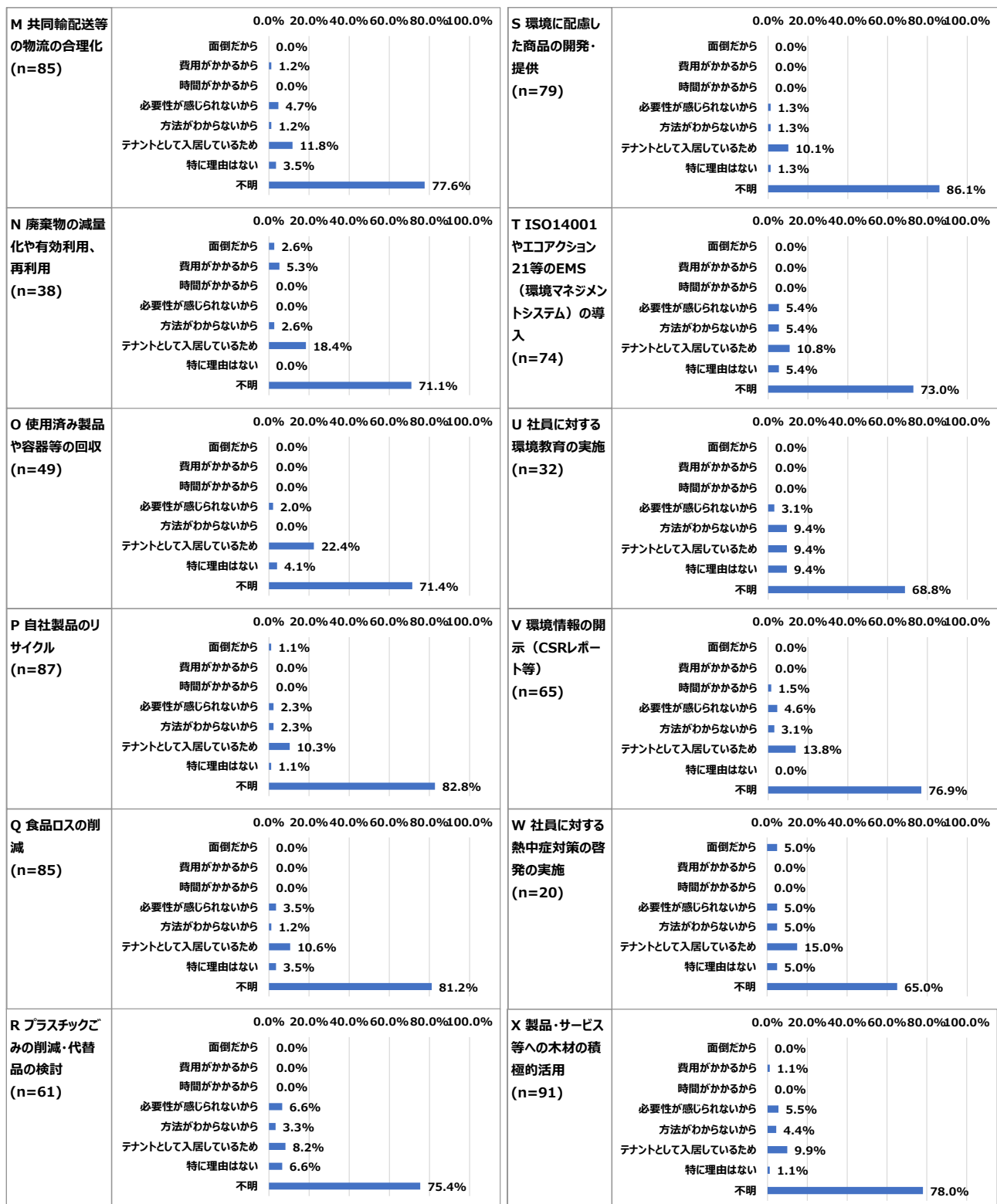
- 「既に取り組んでいる」と「取組を検討中」の合計の割合が高かったのは、「W 社員に対する熱中症対策の啓発の実施」(81.7%)、「I 電気やガス使用量の削減など省エネルギーの実践」(77.4%)、「U 社員に対する環境教育の実施」(71.3%) で7割以上の回答となりました。
- 「取り組む予定はない」については、「J 省エネルギー診断等の受診」(22.6%)、「K 水の有効利用(雨水利用等)」(17.4%)、「C 防音対策の実施(低騒音型機器の導入など)」(16.5%) の順で回答が多くなっています。



## 【環境に配慮した取組に取り組まない理由】

- 取り組まない理由については、すべての項目で「テナントとして入居しているため」の回答が最も多くなっています。





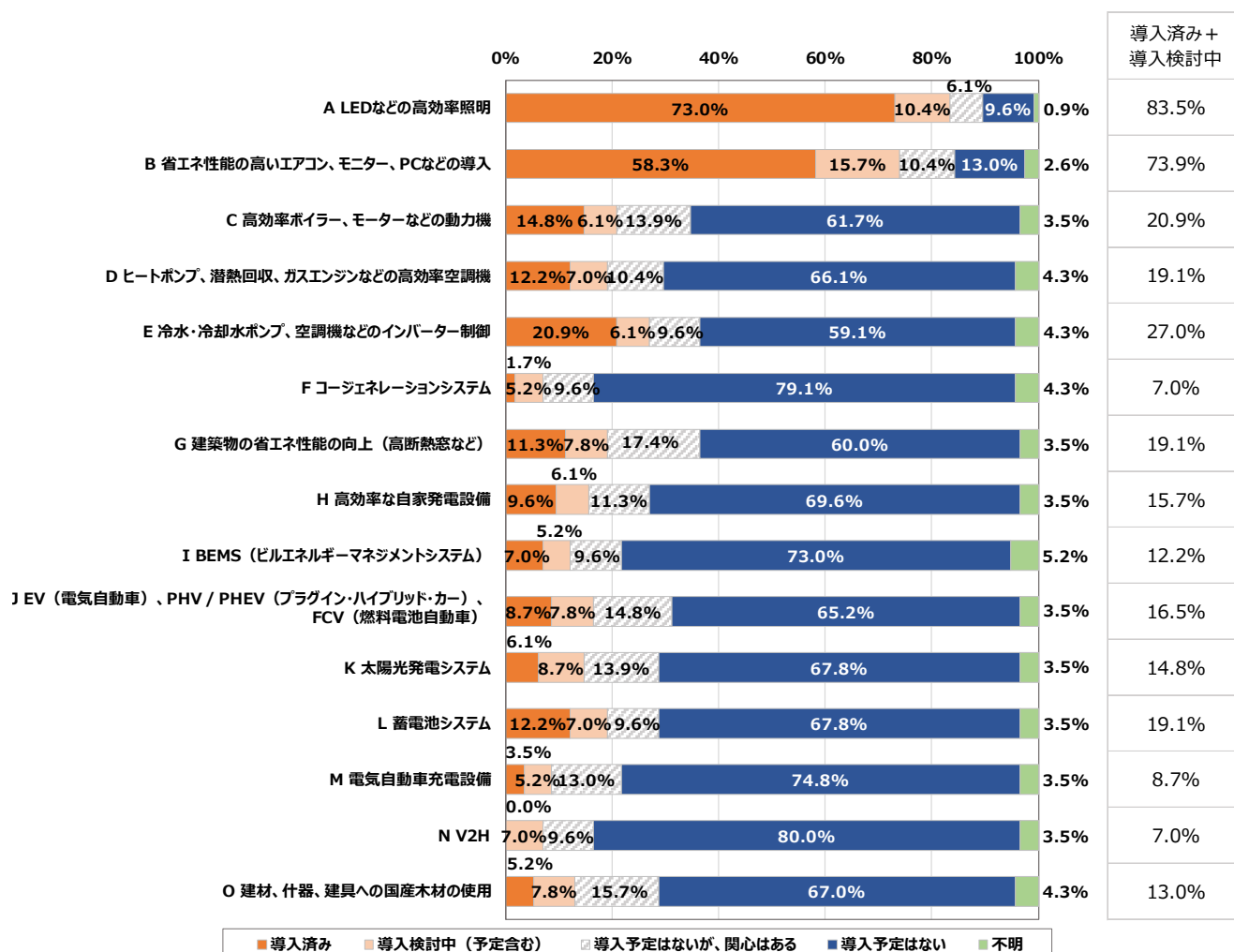
### 3-4 脱炭素の取組について

#### (1) 温暖化防止設備機器の導入状況

問 4 地球温暖化防止につながる機器や設備を導入していますか。それぞれの項目について、当てはまる番号に○をつけてください。

「3 導入予定はないが、関心はある」「4 導入予定はない」を選んだ場合、導入しない理由もお答えください。

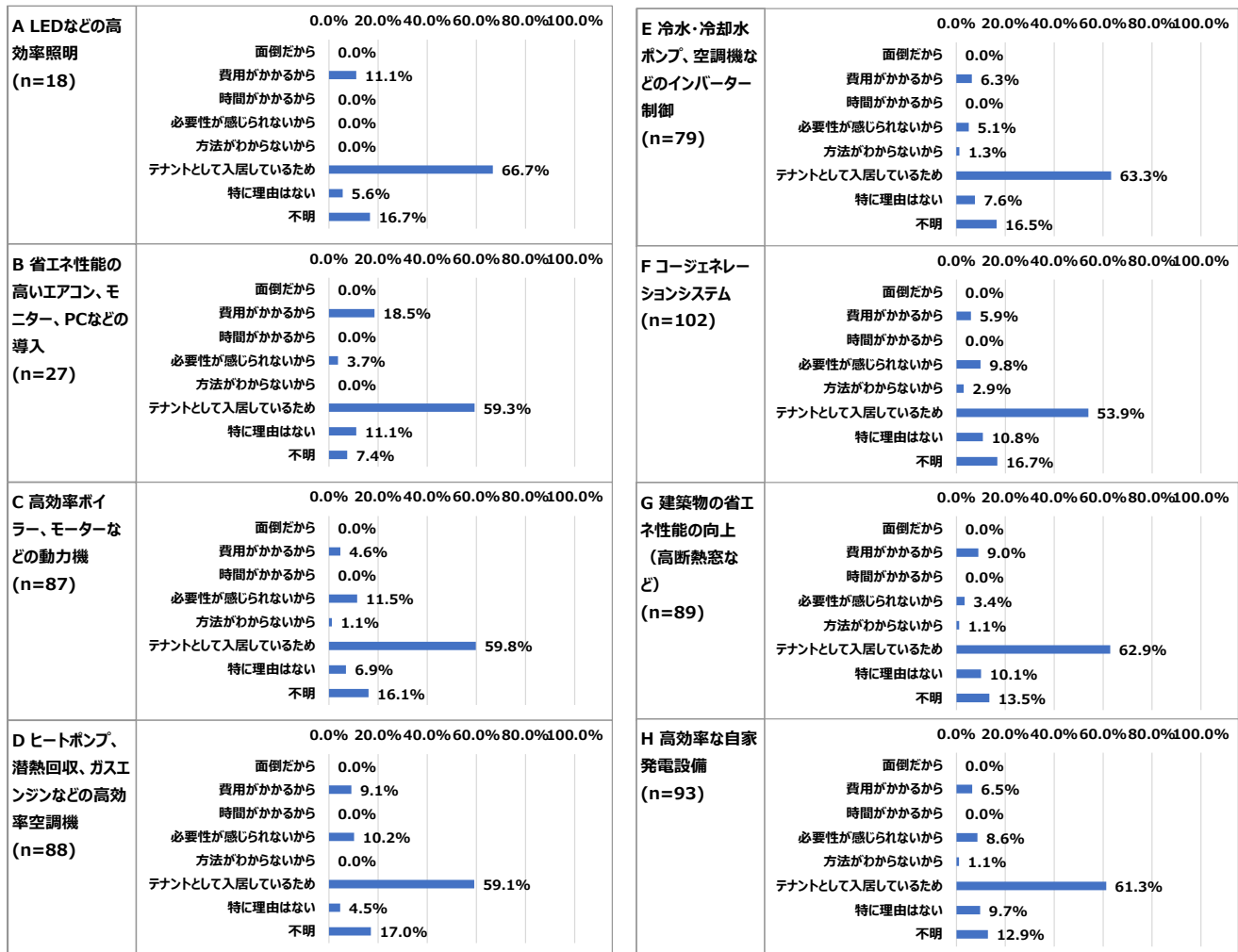
- 「導入済み」と「導入検討中（予定含む）」の合計の割合が高かったのは、「A LED などの高効率照明」（83.5%）、「B 省エネ性能の高いエアコン、モニター、PC などの導入」（73.9%）で7割以上の回答となっています。
- 「導入予定はないが、関心はある」については、「G 建築物の省エネ性能の向上（高断熱窓など）」（17.4%）、「O 建材、什器、建具への国産木材の使用」（15.7%）、「J EV（電気自動車）、PHV / PHEV（プラグイン・ハイブリッド・カー）、FCV（燃料電池自動車）」（14.8%）の順で多くなっています。

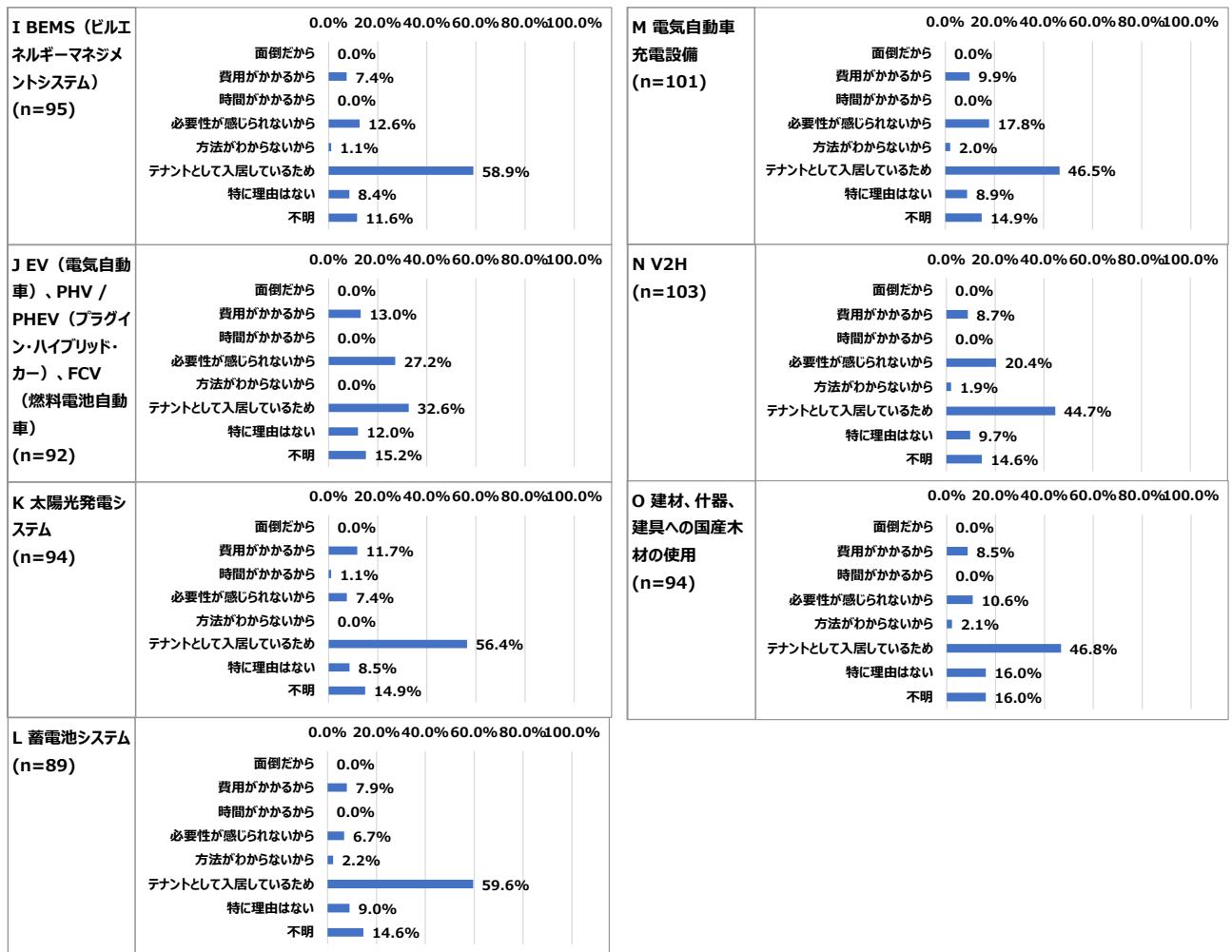




## 【地球温暖化防止設備機器を導入しない理由】

- 導入しない理由については、すべての項目で「テナントとして入居しているため」の回答が最も多くなっています。次点として「必要性が感じられないから」や「特に理由はない」の回答が多くなっています。





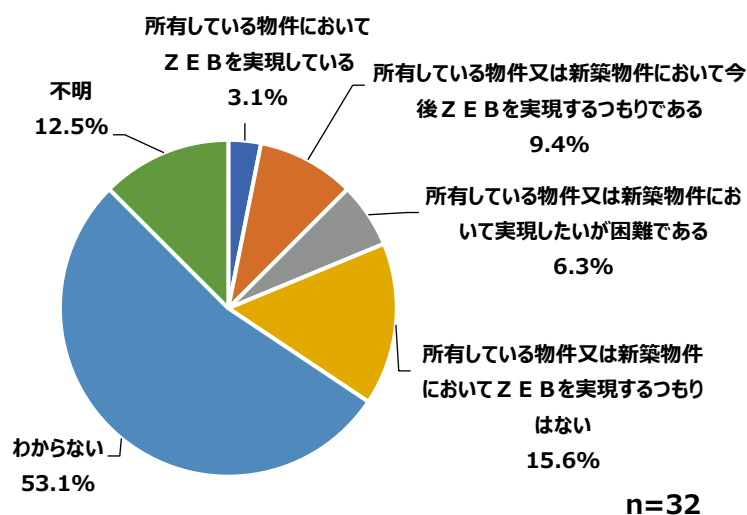
## (2)ZEB について

### 問 5 ①ビルを所有している事業者

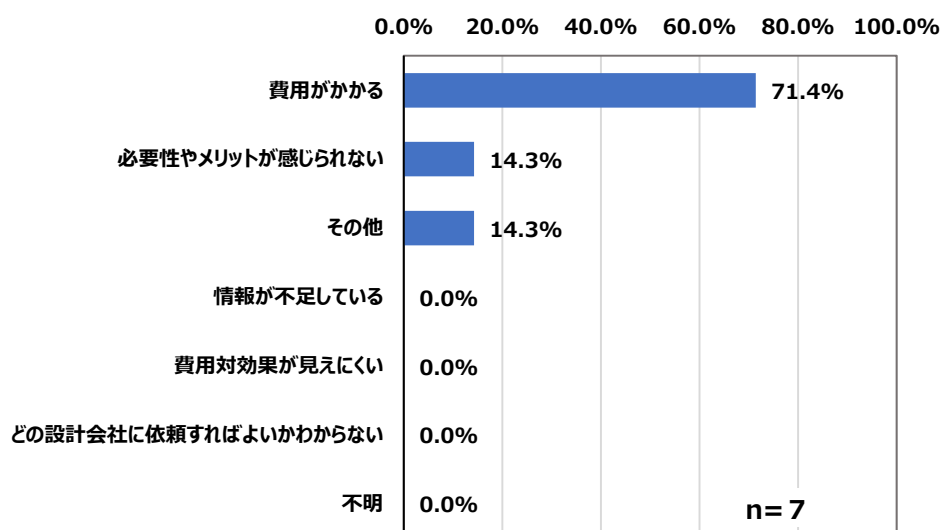
Z E B について、貴組織の考えにもっとも近いものを 1 つ選んでください。

「3 所有している物件又は新築物件において実現したいが困難である」または「4 所有している物件又は新築物件において Z E B を実現するつもりはない」を選んだ場合、理由もお答えください。

- ビルを所有している事業者の Z E B の実現状況については、「所有している物件において Z E B を実現している」と「所有している物件又は新築物件において今後 Z E B を実現するつもりである」であるの合計は 12.5% となりました。最も多い回答は、「わからない」(53.1%) となっています。
- Z E B の実現が困難または実現するつもりはない理由については、「費用がかかる」(74.1%) が最も多くなっています。



### 【ZEB の実現が困難または実現するつもりはない理由】

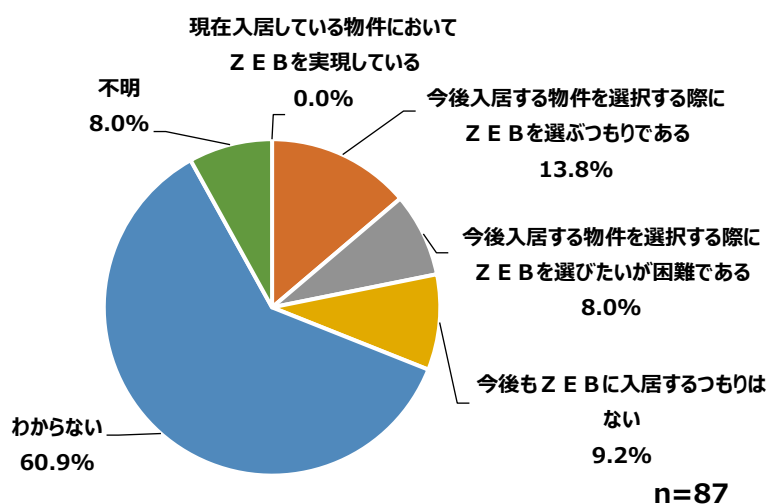


## 問 5 ②テナントに入居している事業者

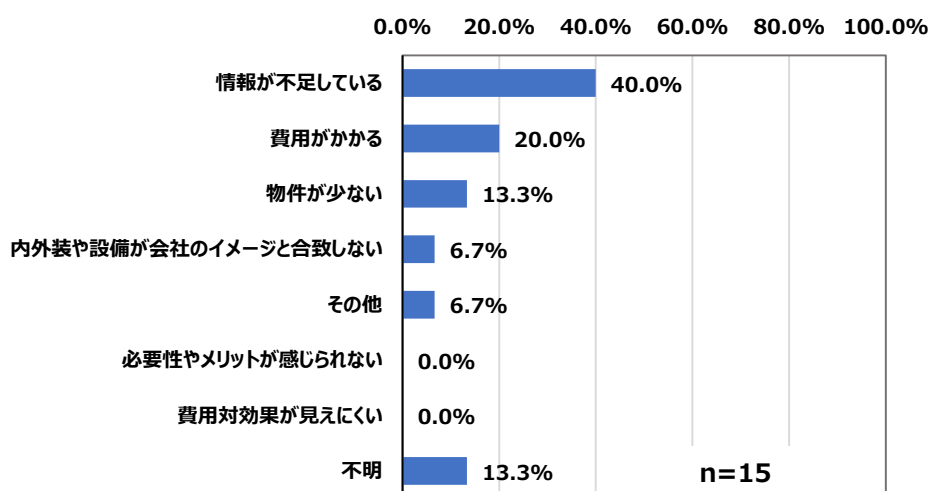
Z E Bについて、貴組織の考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

「3 今後入居する物件を選択する際に、Z E Bを選びたいが困難である」または「4 今後もZ E Bに入居するつもりはない」を選んだ場合、

- テナントに入居している事業者の ZEB の実現状況については、「現在入居している物件において Z E Bを実現している」は回答率 0%でしたが、「今後入居する物件を選択する際に Z E Bを選ぶつもりである」は 13.8%となりました。最も多い回答は、「わからない」(60.9%) となっています。
- ZEB を選びたいが困難または入居するつもりはない理由については、「情報が不足している」(40.0%)、「費用がかかる」(20.0%)、「物件が少ない」(13.3%) の順で多くなっています。



### 【ZEB を選びたいが困難または入居するつもりはない理由】

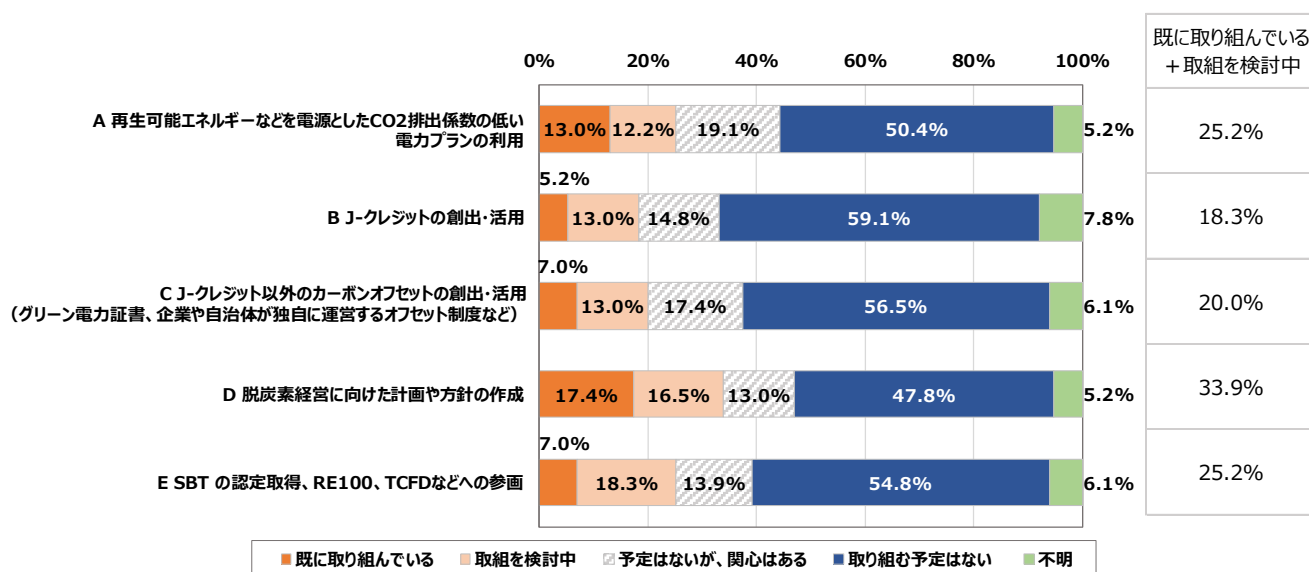


### (3)脱炭素経営の取組状況

問 6 以下は、設備導入が伴わない脱炭素経営の取組です。貴事業所で取り組んでいること、また関心があることはありますか。それぞれの項目について、当てはまる番号に○をつけてください。

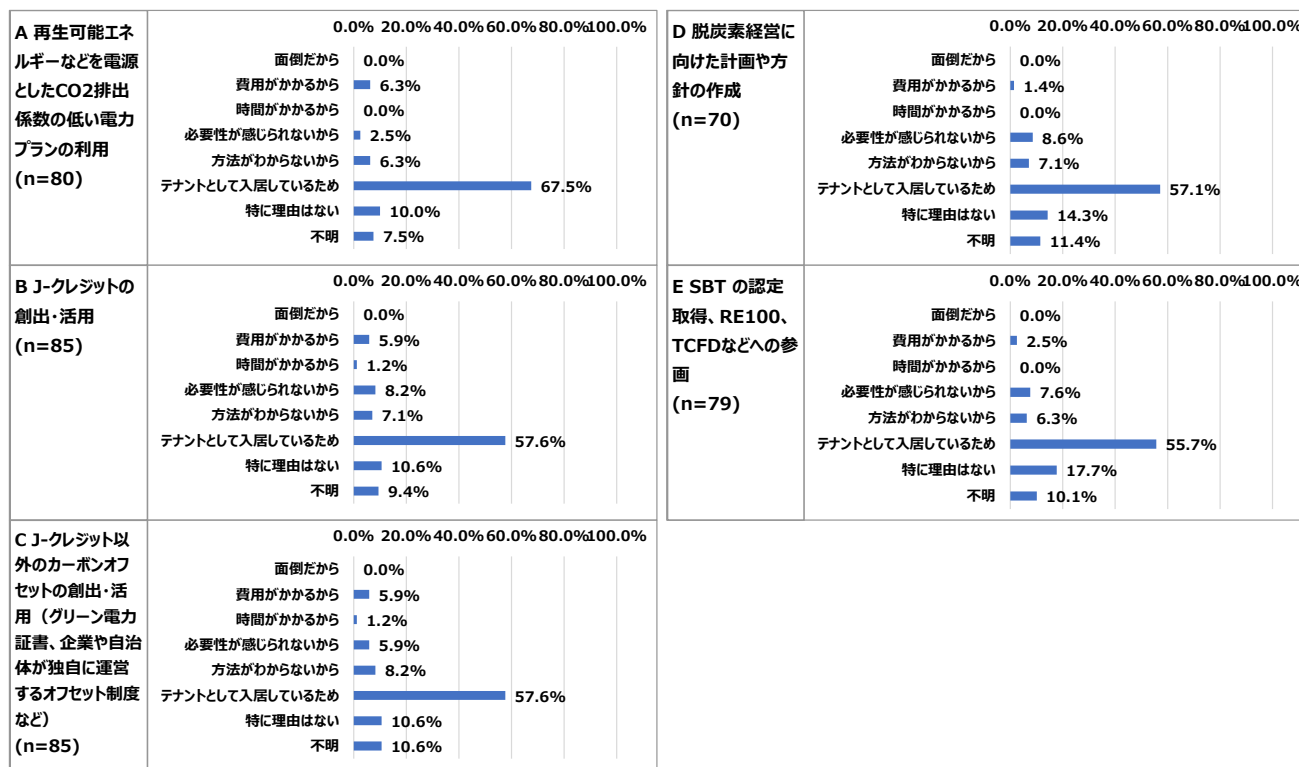
「3 予定はないが、関心はある」「4 取り組む予定はない」を選んだ場合、取り組まない理由もお答えください。

- 「既に取り組んでいる」と「取組を検討中」の合計の割合でみると、「D 脱炭素経営に向けた計画や方針の作成」(33.9%)、「A 再生可能エネルギーなどを電源とした CO2 排出係数の低い電力プランの利用」(25.2%)、「E SBT の認定取得、RE100、TCFD などへの参画」(25.2%) の順で多くなっています。
- 「予定はないが関心はある」は、「A 再生可能エネルギーなどを電源とした CO2 排出係数の低い電力プランの利用」(19.1%) が最も多く、約 2 割の回答率となりました。
- 「取り組む予定はない」については、「B J-クレジットの創出・活用」(59.1%)、「C J-クレジット以外のカーボンオフセットの創出・活用（グリーン電力証書、企業や自治体が独自に運営するオフセット制度など）」(56.5%)、「E SBT の認定取得、RE100、TCFD などへの参画」(54.8%) の順で回答が多くなっています。



【環境に配慮した取組に取り組まない理由】

- 取り組まない理由については、すべての項目で「テナントとして入居しているため」の回答が最も多くなっています。

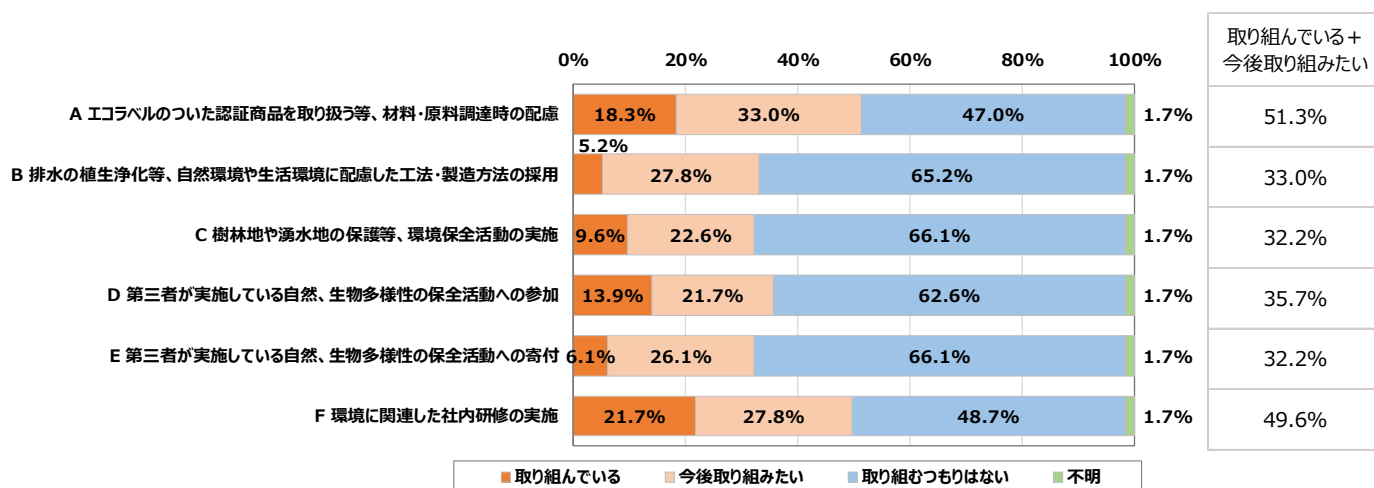


### 3-5 生物多様性に関する取組について

#### (1) 生物多様性の保全に関する取組の状況

問 7-1 貴組織が取り組んでいる、あるいは今後取り組む予定の生物多様性の保全に関する取組について、当てはまる番号に○をつけてください。

- 「取り組んでいる」と「今後取り組みたい」の合計の割合でみると、「A エコラベルのついた認証商品を取り扱う等、材料・原料調達時の配慮」(51.3%)、「F 環境に関連した社内研修の実施」(49.6%)、「D 第三者が実施している自然、生物多様性の保全活動への参加」(35.7%) の順で多くなっています。
- 「取り組むつもりはない」については、「C 樹林地や湧水地の保護等、環境保全活動の実施」(66.1%) と「E 第三者が実施している自然、生物多様性の保全活動への寄付」(66.1%) が同率で最も多く、次いで「B 排水の植生浄化等、自然環境や生活環境に配慮した工法・製造方法の採用」(65.2%) の回答が多くなっています。



問 7-2 7-1 A～Fのうち、「取り組んでいる」または「今後取り組みたい」を選んだ方にお聞きします。具体的にどのようなことに取り組んでいる、もしくは取り組みたいと考えていますか。

- 35 件の回答がありました。

(回答例)

SDGs への参画や勉強会の実施、環境保護の社内教育 (e-learning) を定期的に行っている、外構植物への散水に中水を使用、ビオトープ、FSC 認証紙の採用 など

問 7-3 生物多様性の保全について、7-1 A～F 以外に取り組んでいるものや、今後取り組む予定のものがあれば記入してください。

- 4 件の回答がありました。

(回答例)

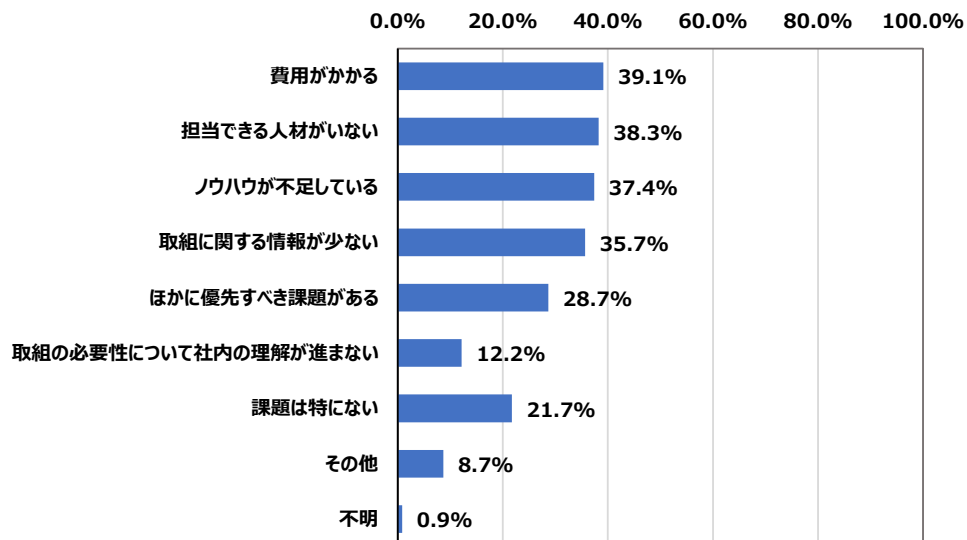
施設の敷地内に干潟があり保護保全活動を実施、森林保全活動の実施、お台場海岸清掃活動に参加 など

### 3-6 取組を進める上での課題について

#### (1)環境の取組を進める上での課題

問 8 貴組織において環境に配慮した取組を進める上での課題は何ですか。

- 環境の取組を進める上での課題については、「費用がかかる」(39.1%) が最も多く、次いで「担当できる人材がいない」(38.3%)、「ノウハウが不足している」(37.4%) の順に続いています。



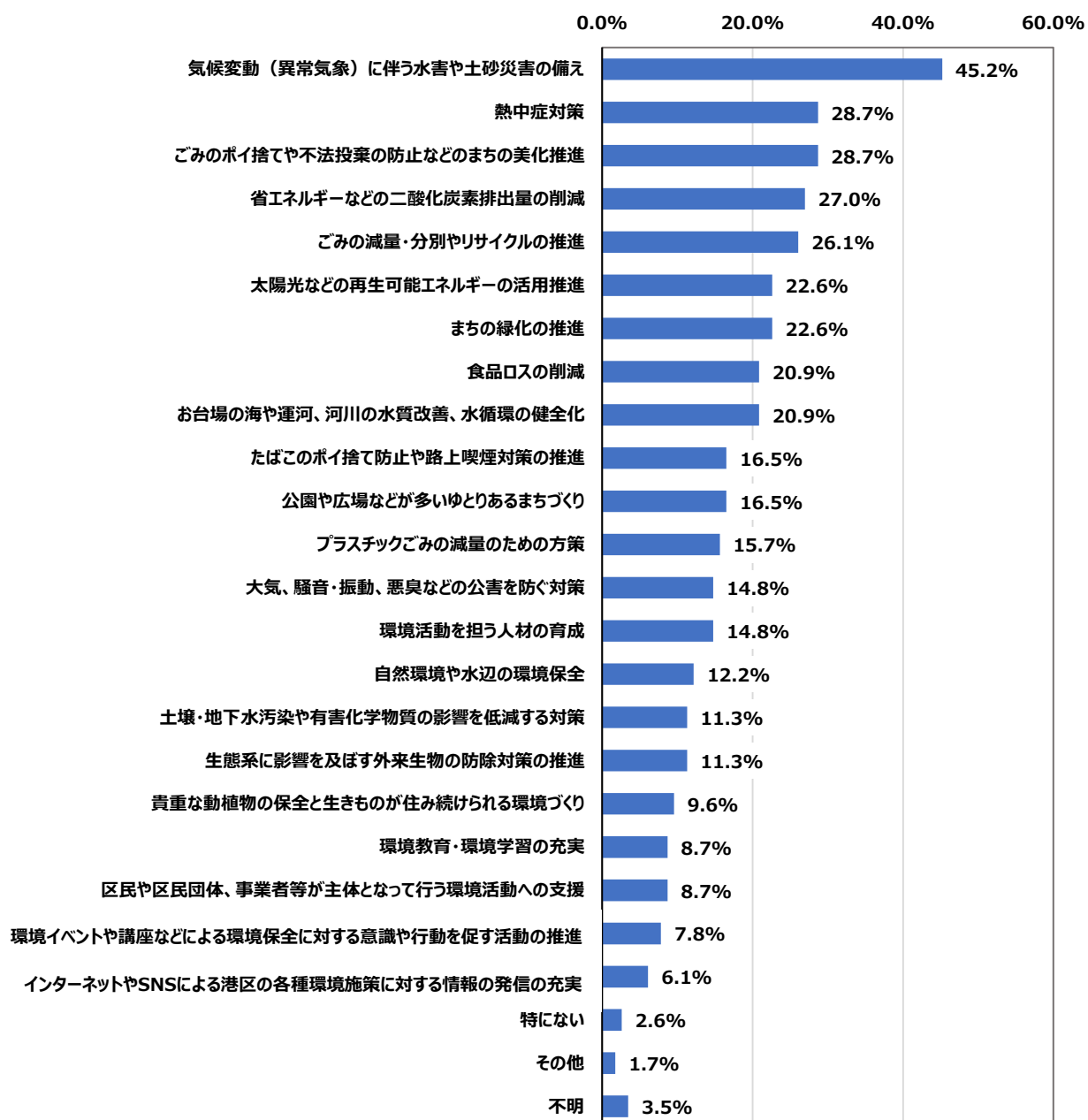


### 3-7 区の実組、区への協力、支援について

#### (1)区が重点的に取り組むべき施策

問 9 港区の環境をより良くしていくため、今後、区が重点的に取り組むべきと思うものを選んでください。(○は5つまで)

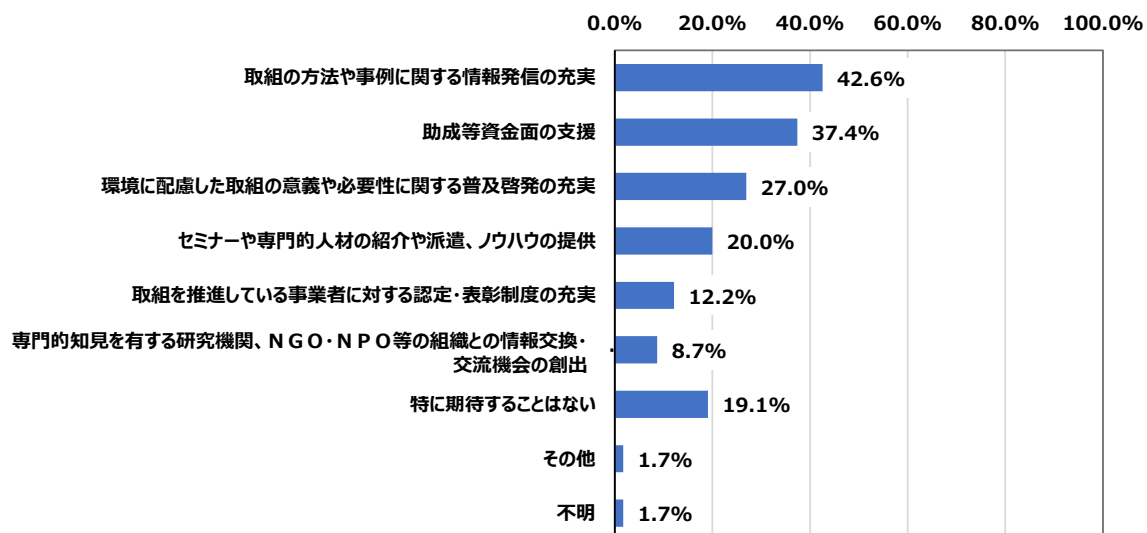
- 区が重点的に取り組むべき施策については、「気候変動（異常気象）に伴う水害や土砂災害の備え」（45.2%）が最も多く、次いで「熱中症対策」（28.7%）、「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止などのまちの美化推進」（28.7%）が続いています。



## (2)期待する区の支援

問 10 貴組織において環境に配慮した取組を進めるために、今後、区にどのような支援を期待しますか。

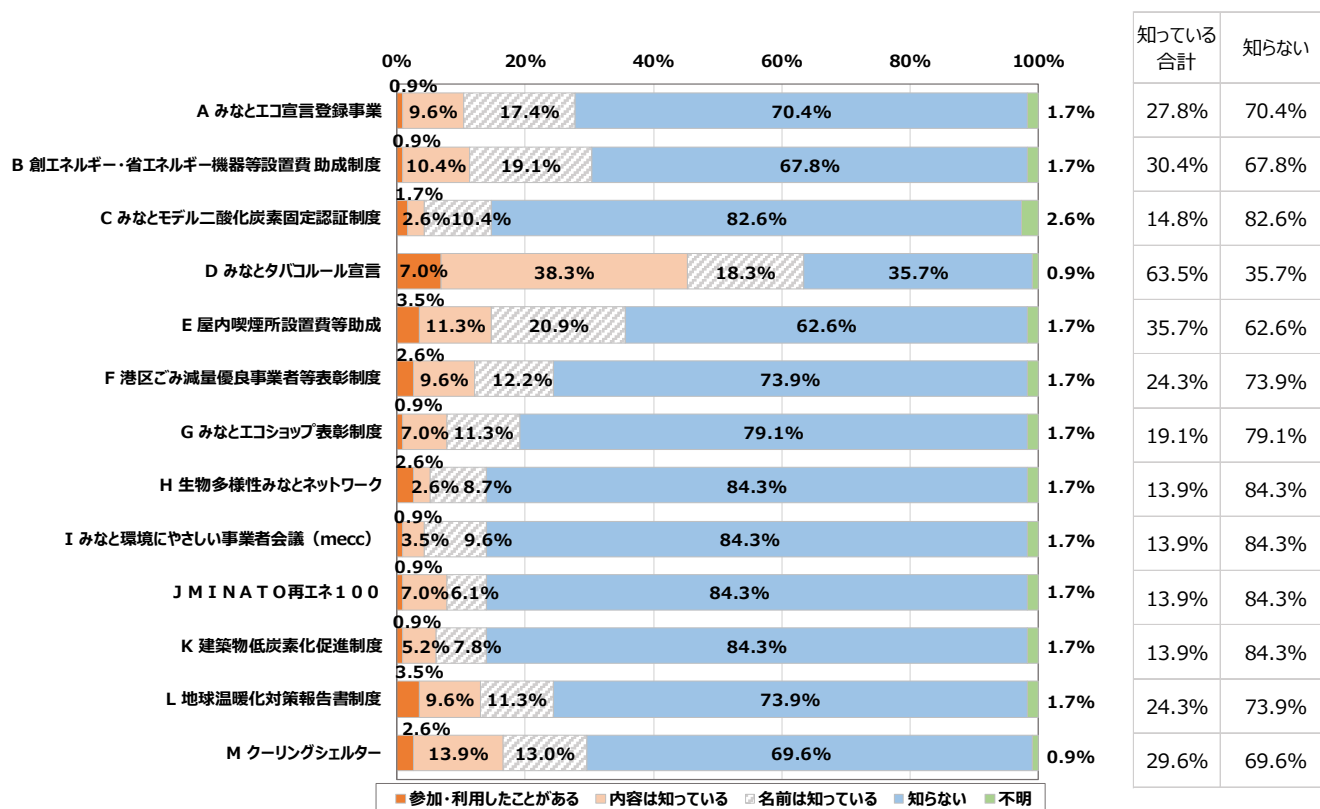
- 期待する区の支援について、「取組の方法や事例に関する情報発信の充実」(42.6%)が最も多く、次いで「助成等資金面の支援」(37.4%)、「環境に配慮した取組の意義や必要性に関する普及啓発の充実」(27.0%)の順に続いています。



### (3) 区的环境保全事業の認知について

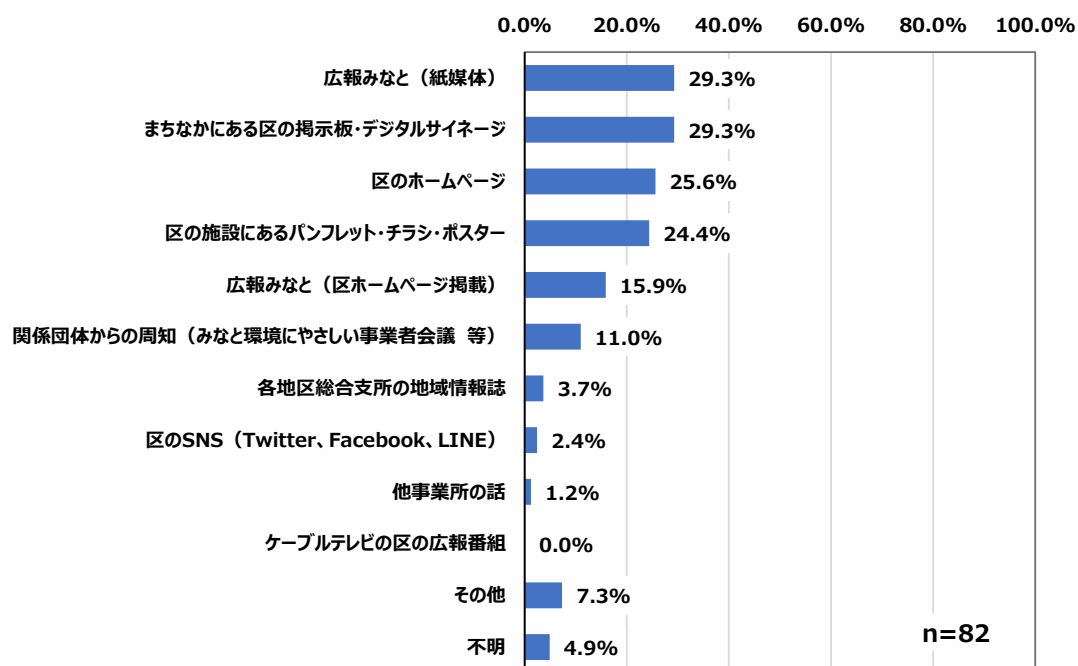
問 11-1 区が、事業者と協力して環境の保全を進めるために行っている事業・取組について伺います。貴組織では、次の事業を知っていますか。

- 事業者と協力して環境の保全を進めるための区の事業・取組について、『知っている合計』（「参加・利用したことがある」、「内容は知っている」、「名前は知っている」の合計）が50%を超えていた項目は、13項目中1項目でした。
- 「参加・利用したことがある」、「内容は知っている」、「名前は知っている」の合計が最も高かったのは「J みなとタバコルール宣言」（63.5%）でした。次いで「E 屋内喫煙所設置費等助成」（35.7%）、「B 創エネルギー・省エネルギー機器等設置費 助成制度」（30.4%）の順で続いています。
- 一方、「知らない」の割合が最も高かった項目は「H 生物多様性みなとネットワーク」、「I みなと環境にやさしい事業者会議（mecc）」、「J M I N A T O再エネ100」、「K 建築物低炭素化促進制度」が同率の84.3%でした。



問 11-2 問 11-1で、「1 参加・利用したことがある」、「2 内容は知っている」、「3 名前は知っている」に1つでも○を付けた方にお聞きします。貴組織では、港区の事業に関する情報をどこから入手していますか。

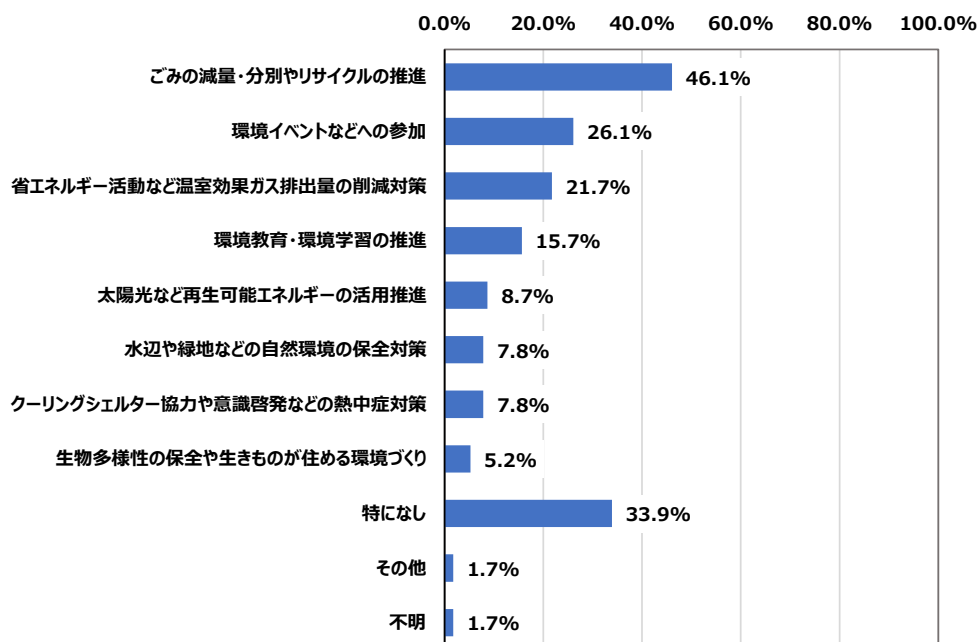
- 区の事業に関する情報の入手方法については、「広報みなと（紙媒体）」（29.3%）と「まちなかにある区の掲示板・デジタルサイネージ」（29.3%）が同率で最も多く、次いで「区のホームページ」（25.6%）となっています。



#### (4)環境に関する地域貢献活動について

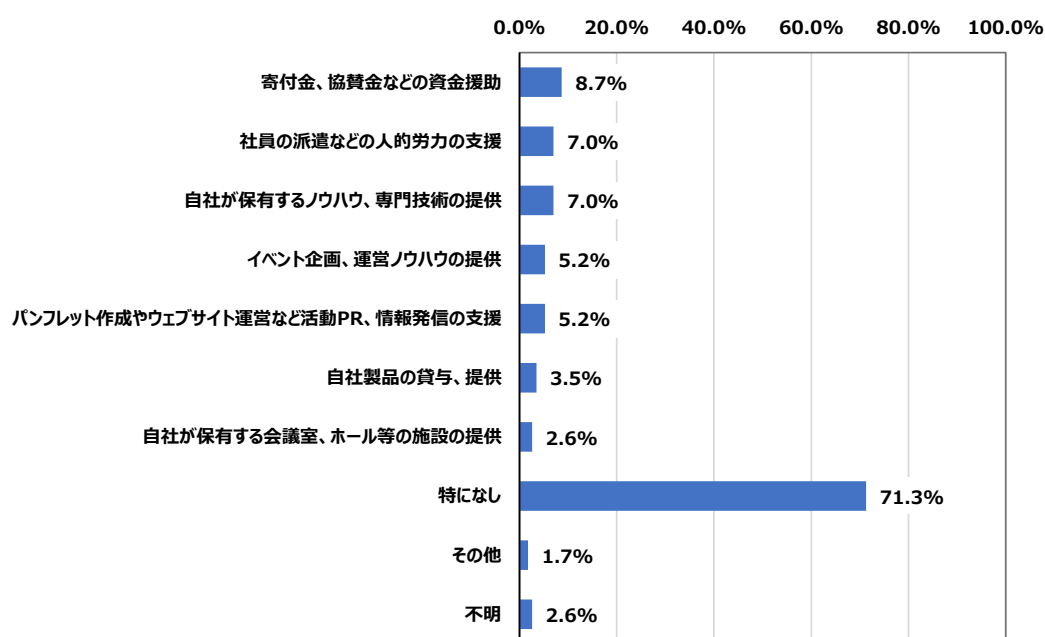
問 12 貴事業所が、環境に関する地域貢献活動において、区に協力、支援できる活動分野はありますか。

- 協力、支援できる活動分野については、「ごみの減量・分別やリサイクルの推進」(46.1%) が最も多く、次いで「環境イベントなどへの参加」(26.1%)、「省エネルギー活動など温室効果ガス排出量の削減対策」(21.7%) の順に続いています。



問 13 貴事業所が、上記において、区に協力、支援できる取組はありますか。

- 協力、支援できる取組については、「寄付金、協賛金などの資金援助」(8.7%) が最も多く、次いで「社員の派遣などの人的労力の支援」(7.0%)、「自社が保有するノウハウ、専門技術の提供」(7.0%) が多くなっています。



問 14 問 12、問 13 の回答で、区に協力、支援できる具体的な内容がありましたらご記入ください。

- 8 件の回答がありました。

(回答例)

自然・生物多様性の保全活動への参加、グループ会社に専門の企業がある、当社が定めるマテリアリティや社会貢献の優先領域に合致した活動であれば参画できます など